

DENON

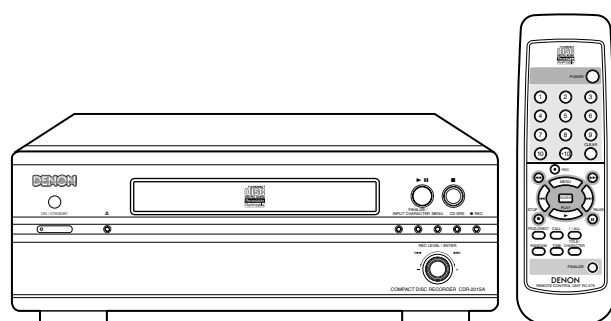
取扱説明書

CDR-201SA

CD RECORDER

CD レコーダー

目次



はじめに	1 使用上のご注意	2 ~ 5
	2 取り扱い上のご注意	6
	3 本機の特長	7
	4 付属品について	7
	5 保証とサービスについて	8
接続	6 接続のしかた	8、9
準備	7 各部の名前とはたらき	10 ~ 13
	8 リモコンについて	14 ~ 16
	9 ディスクについて	17 ~ 19
	10 ディスクの取り扱いとご注意	20
	11 CD-R/RWの規格上の制約について	21
	12 ディスクホルダーの開閉と ディスクの入れかた	22
操作	13 各種設定のしかた	23 ~ 26
	14 ディスクの再生のしかた	27 ~ 32
	15 録音のしかた	33 ~ 38
	16 ファイナライズについて	39
	17 編集のしかた	40 ~ 51
	18 システム機能について	52 ~ 55
その他	19 メッセージについて	55
	20 故障かな？と思ったら	56
	21 主な仕様	57

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

1 使用上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

【絵表示の例】



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

■ 安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜け

内部に異物を入れない

ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。



電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



使用上のご注意（つづき）

⚠ 警告 つづき

■ 安全上お守りいただきたいこと

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



ACアウトレットのご使用は表示供給電力内で
接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。
また供給電力内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアードライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。



雷が鳴り出したら
アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



乾電池は充電しない
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。



落としたり、キャビネットを破損した場合は
まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■ 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが
入った容器を置かない
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



この機器の上に小さな金属物を置かない
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを
コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・
感電の原因となります。



使用上のご注意（つづき）

⚠ 注意

■ 安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



ディスク挿入口に手を入れない

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。

万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



指を挟まれないように注意

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



■ 置き場所について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



使用上のご注意（つづき）

⚠ 注意 つづき

■ 置き場所について

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- ・湿気やほこりの多いところ
- ・直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ



壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



■ 取り扱いについて

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



■ 使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



■ お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。



5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。

なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。



2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■ 結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ 結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。

結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。



■ 結露後の処置は

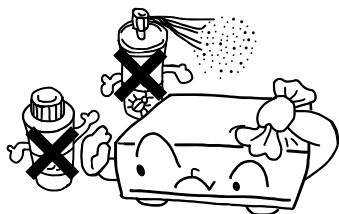
結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1～2時間で使用できるようになります。

お手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。



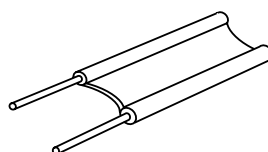
設置の際のご注意

■ 本機やマイクロコンピュータを搭載した電子機器をチューナーやテレビと同時に使用する場合、チューナー・テレビの音声や映像に雑音や画面の乱れが生じることがあります。このような場合は、次の点に注意してください。

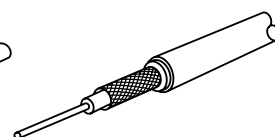
本機をチューナーやテレビからできるだけ離してください。

チューナーやテレビのアンテナ線を本機の電源コードおよび入出力などのステレオ音声コードから離して設置してください。

特に室内アンテナや300Ωフィーダー線をご使用の場合に起こりやすいので、屋外アンテナおよび75Ω同軸ケーブルのご使用をおすすめします。



300Ωフィーダー線



75Ω同軸ケーブル

■ 本機の上にテレビ（小型テレビを含む）や置きものなどを載せないでください。

使わないときは

■ ふだん使わないとき

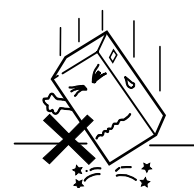
必ずディスクを取り出し、電源を切ってください。

外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



■ 移動させるとき

衝撃を与えないでください。



ディスクを取り出し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、他のオーディオ機器との接続コード類を取り外してから移動させてください。

ご注意

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

3 本機の特長

1. 多彩な録音モード

ソース側のアルバム1枚を録音する『ディスクシンクロ録音』、好きな曲を1曲ずつ録音する『トラックシンクロ録音』の2つの便利なシンクロ録音機能を搭載。手動操作のマニュアル録音も可能です。

2. 便利なシステム機能

PRESTA-201SAシリーズとシステムコードで接続して使用すると、CDシンクロ録音、オートファンクション、オートパワーオンなどの操作が簡単にできるシステム機能を装備しています。また、プリメインアンプ（PMA-201SA）に付属のシステムリモコン（RC-906）では、各システムユニットの主な操作をおこなうことができます。

3. あらゆるデジタルソースのデジタル録音に対応

『サンプリングレートコンバーター』の搭載により、MDやCDはもちろん、BS放送やDATなどのデジタル信号の音質を劣化させることなく、デジタル録音をおこなうことができます。
デジタル機器を2台まで接続できます。

4. テキスト入力、表示機能

録音したCD-R/RWディスクのアルバムタイトル、1曲ごとの曲名を入力して表示させることができます。

5. スキップ再生機能

録音を失敗した曲などを通常再生で再生しないようにディスクに登録することができます。

6. 豊富な再生機能

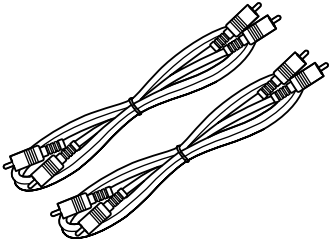
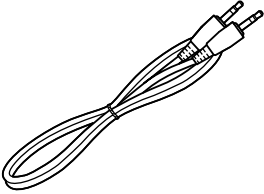
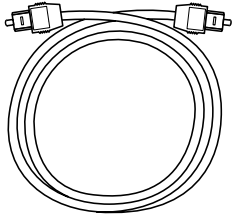
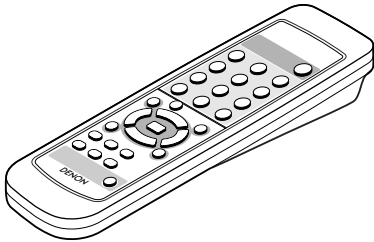
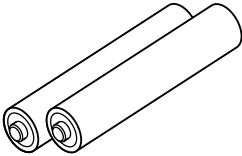
プログラム再生、ランダム再生、全曲リピート再生、1曲リピート再生などの操作ができます。

7. 低待機電力

電源スタンバイ時の待機電力を1W以下に低減しました。

4 付属品について

本体とは別に下記の付属品が付いています。ご使用前にご確認ください。

ステレオ音声コード 2本 	システムコード 1本 	光接続コード 1本 
リモコン（RC-279） 1個 	単3形乾電池 2本 	取扱説明書（本書） 1冊 製品のご相談と 修理・サービス窓口一覧表 1枚 保証書 （梱包箱に貼り付けられています）

5 保証とサービスについて

- ① この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- ② 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますのでご注意ください。
詳しくは保証書をご覧ください。

修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。
- ③ 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- ④ 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- ⑤ 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。
- ⑥ 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音や再生などの機会を逸したために発生した損害などの付随的な損害の補償については当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

6 接続のしかた

PRESTA-201SAシリーズに接続する

『システム接続』

PRESTA-201SAシリーズ以外のプリメインアンプと接続する場合は、3の接続をおこなう必要はありません。この場合、オートパワーオン機能などすべてのシステム機能は動作しません。各ユニット間のすべてのステレオ音声コードおよびシステムコードを接続しないと、オートパワーオン機能などのシステム動作がおこなわれません。各ユニット間のすべての接続コードは確実に接続してください。

動作中にシステムコードを抜くと誤動作の原因になりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後で接続の変更をおこなってください。
プリメインアンプ（PMA-201SA）の通風孔をふさがないように配置してください。

ご注意

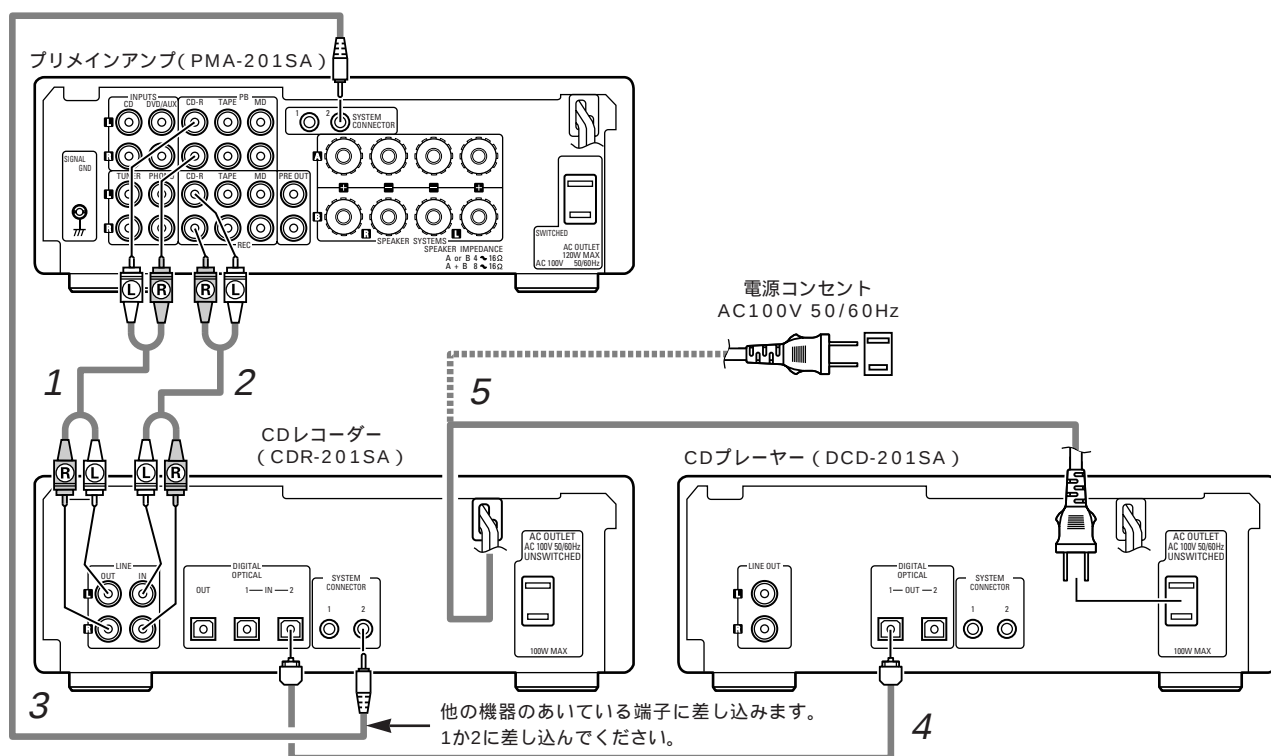
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。
- 電源プラグは確実に差し込んでください。
不完全な接続は雑音発生の原因になります。
- 電源コードと接続コード類を一緒に束ねると、ハムや雑音の原因になることがあります。
- 一度電源プラグをコンセントから抜いた場合は、約5秒程度経ってからもう一度コンセントに差し込んでください。

- | | |
|---|--|
| 1 | 本機に付属のステレオ音声コードで、本機のライン出力端子（LINE OUT）とプリメインアンプの入力端子（CDR）を接続します。 |
| 2 | 本機に付属のステレオ音声コードで、本機のライン入力端子（LINE IN）とプリメインアンプの出力端子（REC OUT CDR）を接続します。 |
| 3 | 本機に付属のシステムコードで、本機のシステム端子（SYSTEM CONNECTOR 1または2）と他の機器のシステム端子（SYSTEM CONNECTOR 1または2）を接続します。 |
| 4 | 本機に付属の光接続コードで、本機のデジタル入力端子（DIGITAL OPTICAL IN 1または2）とCDプレーヤーのデジタル出力端子（DIGITAL OPTICAL OUT 1または2）を接続します。 |
| 5 | 本機の電源プラグを壁の電源コンセントまたはPRESTA-201SAシリーズのコンセント（AC OUTLET）に差し込みます。 |

PRESTA-201SAシリーズ以外のプリメインアンプと接続しても使用することができます。この場合、オートパワーオン機能などすべてのシステム機能ははたらきません。

また、一般のプリメインアンプには2台以上のカセットデッキを接続して相互にコピーできる機能を備えているものもあります。使用するプリメインアンプの取扱説明書をよくお読みの上、お使いください。

接続のしかた(つづき)



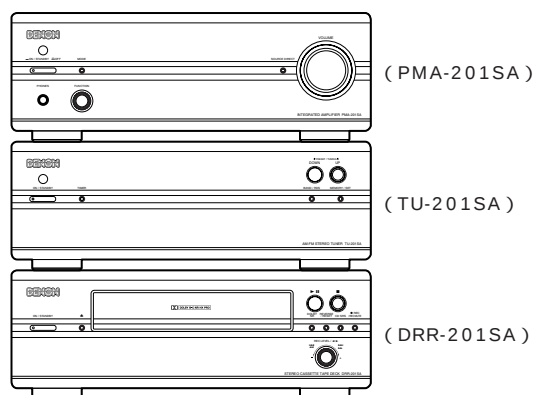
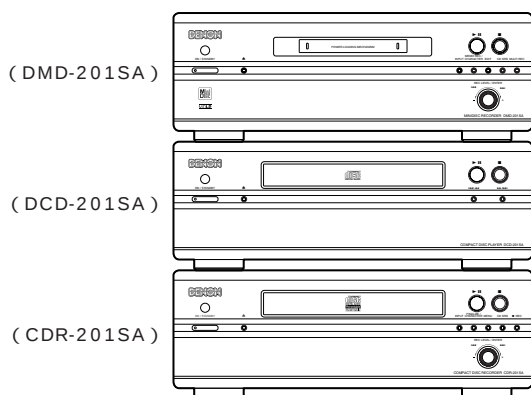
PRESTA-201SAシリーズの全ユニットのシステム接続のしかたは、PMA-201SAの取扱説明書をご覧ください。

■ 推奨システムセッティングについて

PRESTA-201SAシリーズでのシステムセッティングは性能・安定性を確保するため下記のようにおこなってください。

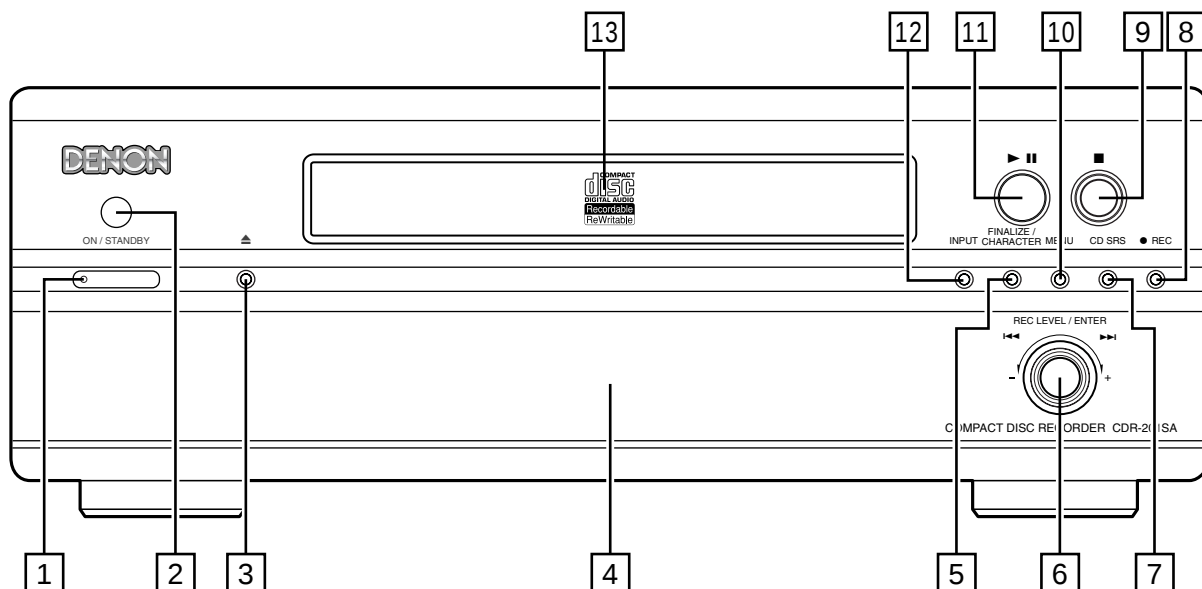
ご注意

- ・プリメインアンプ (PMA-201SA) の上に他の機器を直接重ねないでください。
- ・安全性確保のため、機器の積み重ねは3段までにしてください。



7 各部の名前とはたらき

(1) フロントパネル



① 電源ボタン (ON/STANDBY)

- ・押すと電源が入り、電源インジケーターが緑色に点灯します。
もう一度押すと、電源インジケーターが赤色に点灯して、スタンバイ状態になります。(通電状態)

② リモコン受光部

- ・本機に付属のリモコン (RC-279) をこの受光部に向けて操作してください。
PRESTA-201SAシリーズとシステム接続しているときは、プリメインアンプ (PMA-201SA) に付属のリモコンをPMA-201SAのリモコン受光部に向けて操作してください。

③ ディスクホルダー開閉ボタン (▲)

- ・ディスクホルダーを開閉するときに押します。
- ・スタンバイ状態のときに押しても電源が入り、ディスクホルダーが開きます。
- ・テキスト情報の入力操作をおこなってファイナライズしていない場合は、テキスト情報をすべて消去しないとディスクホルダーは開きませんので、ファイナライズをしてください。

④ ディスプレイ

- ・13ページを参照してください。

⑤ ファイナライズ/キャラクターボタン (FINALIZE/CHARACTER)

- ・ファイナライズをおこなうときに押します。
【ファイナライズボタン】(17、39ページ参照)
- ・タイトルを入力するとき、英字の大文字/小文字、特殊文字に切り替えるときに押します。
【キャラクターボタン】

⑥ ジョグダイヤル/エンターボタン

(◀◀ ▶▶ / REC LEVEL/ENTER)

- ・曲の頭出しや編集操作をおこなうときに使用します。
- ・タイトルを入力するときは、入力する文字を選択できます。
- ・録音一時停止状態のとき、または録音中に回すと入力信号の録音レベル (音量) を選択できます。(34、35ページ参照)
- ・編集操作を確定するときに押します。【エンターボタン】

⑦ CDシンクロ録音ボタン (CD SRS)

- ・PRESTA-201SAシリーズとシステム接続をしているとき、自動的にCDの録音をおこなうときに押します。(53ページ参照)

⑧ 録音ボタン (● REC)

- ・録音するときに押します。
(33～38ページ参照)
このボタンを1回押すと、録音一時停止状態になります。
- ・録音一時停止状態のときに、プレイ/ポーズボタン (▶/||) を押すと録音をはじめます。
(マニュアル録音時)

⑨ ストップボタン (■)

- ・再生または録音を停止するとき、およびメニューモードを取り消すときに押します。

⑩ メニューボタン (MENU)

- ・録音入力レベル可変、テキスト編集、各種設定、CD-R/RW編集ができます。

各部の名前とはたらき（つづき）

11 プレイ/ポーズボタン（▶/⏸）

- ディスクの再生または録音をはじめるときに押します。
- 再生中または録音中に押すと一時停止します。

12 入力切り替えボタン（INPUT）

- 録音する入力ソースを切り替えるときに押します。（34、35ページ参照）
- 録音中は切り替えられません。録音一時停止中または停止中に切り替えてください。

13 ディスクホルダー

ステレオ音のエチケット



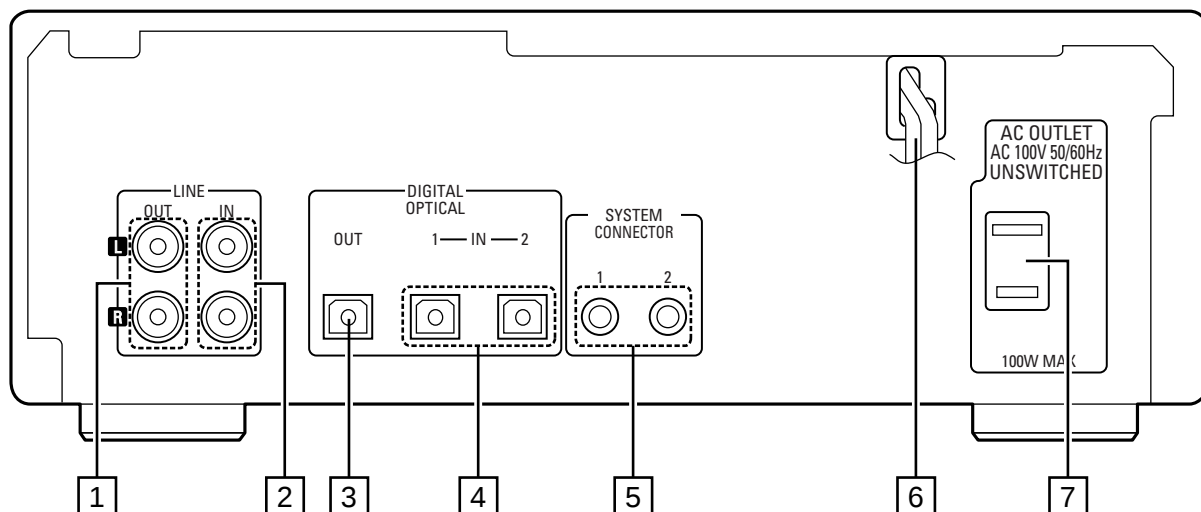
音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。

特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

各部の名前とはたらき (つづき)

(2) リアパネル



① ライン出力端子 (LINE OUT)

- ・プリメインアンプなどの入力端子に接続します。
- ・PRESTA-201SAシリーズとシステム接続して使用する場合は必ず、プリメインアンプ (PMA-201SA) の入力端子 (PB CDR) に接続してください。

② ライン入力端子 (LINE IN)

- ・プリメインアンプなどの出力端子に接続します。
- ・アンプやCDレシーバーに接続された他の機器の音声を、本機で録音することができます。この場合、入力切り替えボタン (INPUT) で『ANA』に設定してください。

③ デジタル出力端子

(DIGITAL OPTICAL OUT)

- ・デジタルデータを光で出力します。
- ・市販のMDレコーダーまたはD/Aユニットなどのデジタル入力端子 (OPTICAL IN) に接続します。
- ・デジタル入出力端子への接続は付属の光接続コード、または市販のデジタルオーディオ機器用の角型光接続コードをご使用ください。

④ デジタル入力端子

(DIGITAL OPTICAL IN 1, 2)

- ・デジタルデータを光で入力します。
- ・CDプレーヤー、MDレコーダー、BS放送チューナー、DATデッキまたは本機以外のCDレコーダーなどのデジタル出力端子 (OPTICAL OUT) に接続すると、これらの機器の音声をデジタル録音することができます。この場合、入力切り替えボタン (INPUT) で『OPT-1』または『OPT-2』に切り替えてください。

ご注意

デジタルコピーが禁止されているソースからは、デジタル録音ができません。 (“Copy Prohibit” が表示されます。)(21ページ参照)

⑤ システム端子

(SYSTEM CONNECTOR 1, 2)

- ・PRESTA-201SAシリーズとシステム接続するときに、付属のシステムコードで他の機器と接続します。

⑥ 電源コード

- ・PRESTA-201SAシリーズをシステム接続して使用するときは、プリメインアンプ (PMA-201SA) またはPRESTA-201SAシリーズ各機器のACアウトレット (AC OUTLET) に接続してください。
- ・本機を単体で使用する場合は、壁の電源コンセントなどに差し込んでください。

⑦ ACアウトレット (AC OUTLET)

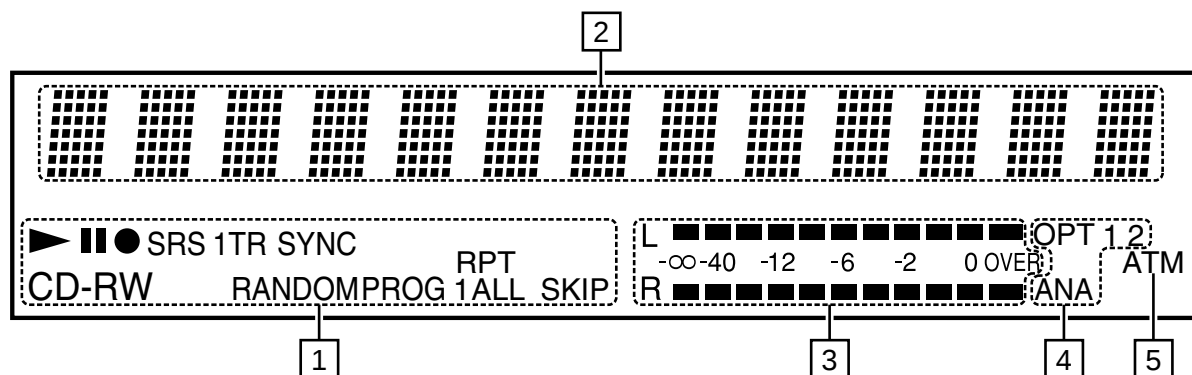
- ・PRESTA-201SAシリーズ専用です。CDプレーヤー (DCD-201SA) MDレコーダー (DMD-201SA) またはカセットデッキ (DRR-201SA) を接続してください。
- ・電源ボタンのON/STANDBYとは連動しません。

ご注意

接続できる機器の消費電力は、最大100Wです。それ以上の機器は接続しないでください。

各部の名前とはたらき (つづき)

(3) ディスプレイ



① 各種モード表示部

- 各種モードの状態を表示します。

CD :

CDまたはファイナライズされたCD-RディスクやCD-RWディスクが装着されているときに点灯します。

CD-R :

ファイナライズされていないCD-Rディスクが装着されているときに点灯します。

CD-RW :

ファイナライズされていないCD-RWディスクが装着されているときに点灯します。

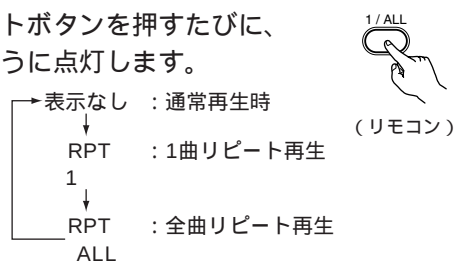
1 TR SYNC/SYNC :

シンクロ録音モードが設定されているときに点灯します。

システム接続している場合は、設定できません。

RPT :

リピートボタンを押すたびに、次のように点灯します。



PROG :

プログラム選曲およびプログラム再生のときに点灯します。

RANDOM :

ランダム再生のときに点灯します。

● :

録音中または録音一時停止中に点灯します。

⏸ :

再生または録音の一時停止中に点灯します。また、再生一時停止中のマニュアルサーチ時には点滅します。

▶ :

再生中または録音中に点灯します。また、再生中のマニュアルサーチ時には点滅します。

SRS/SRS 1TR :

DCD-201SAとのCDシンクロ録音中に点灯します。

SKIP :

スキップ再生がオンに設定されていて、スキップ登録曲があるディスクが装着されているときに点灯します。

スキップ登録曲があるファイナライズ済みのディスクが装着されているときは、スキップ再生の設定によらず点灯します。

② マルチ表示部

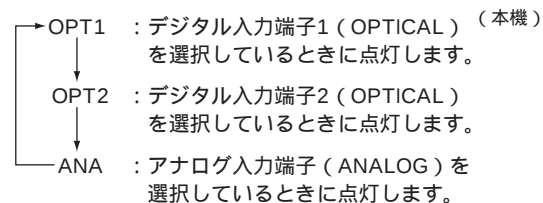
- 曲数、曲番、再生時間、タイトル、各種動作内容、メッセージなどが表示されます。

③ レベルメーター表示部

- 再生のときは再生レベル、録音のときは録音レベルが表示されます。

④ 入力ソース表示部

- 入力切り替えボタンを押すたびに、次のように点灯します。



⑤ オート・トラック・マーキング表示部

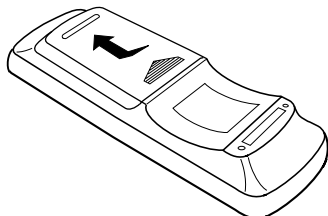
- オートトラックマーキング機能がオンのときに点灯します。デジタル入力からの録音の場合、常にオン（点灯）になります。アナログ入力からの録音の場合、オン/オフを設定することができます。(25ページの『(3) アナログオートトラックマーキング (ATM) の設定』を参照してください。)

8 リモコンについて

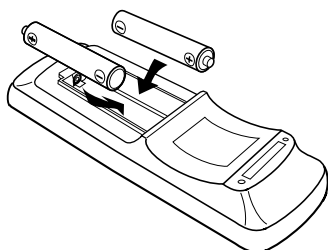
付属のリモコン (RC-279) を使用すると、離れたところから本機をコントロールすることができます。

(1) 乾電池の入れかた (RC-279)

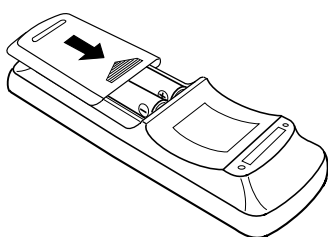
リモコンの裏ぶたを外してください。



単3形乾電池 (2本) をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。



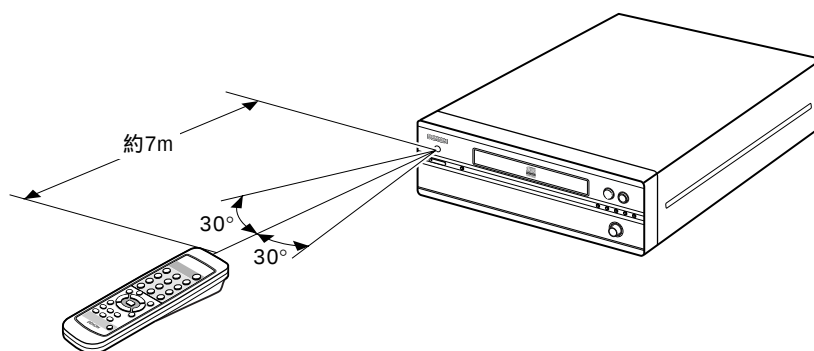
裏ぶたを元通りにしてください。



乾電池についてのご注意

- ・リモコンには単3形乾電池をご使用ください。
- ・リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。
- ・1年経っていても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。(付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。)
- ・乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに、⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- ・破損・液漏れの恐れがありますので、
 - ・新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・乾電池をショートさせたり、分解や加熱、または火に投入したりしないでください。
- ・リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- ・万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- ・乾電池を交換するときは、あらかじめ交換用の乾電池を用意し、できるだけ速やかに交換してください。

(2) リモコンの使いかた (RC-279)



- ・リモコンは、図のようにリモコン受光部に向けて使用してください。
- ・直線距離では約7m離れたところまで使用できますが、障害物があったり、リモコン受光部に向いていないと受信距離は短くなります。
- ・リモコン受光部を基準にして左右約30°までの範囲で操作できます。

ご注意

- ・リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていたり、リモコン受光部との間に障害物があるとリモコンが動作しにくくなります。
- ・本機とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。

リモコンについて(つづき)

(3) リモコンボタンの名前とはたらき (RC-279)

特に説明のないボタンは、本体と同じはたらきをします。

ご注意

本機をPRESTA-201SAシリーズとシステム接続をして使用するときには、このリモコンの電源ボタンで本機の電源ON/STANDBY操作はできません。

テンキー (1~10, +10)

ダイレクト選曲およびプログラム選曲をおこなうときに押します。

録音ボタン (● REC)

マニュアルサーチ・リバー্সボタン (◀◀)

早戻しするときに押します。
(29ページ参照)
タイトル入力時、カーソルを左に移動するときに押します。

オートマチックサーチ・リバー্সボタン (◀◀I)

曲の頭出しをするときに押します。
(28ページ参照)

ストップボタン (■ STOP)

プログラム/ダイレクトボタン (PROG/DIRECT)

プログラム再生とダイレクト再生を切り替えるときに押します。
(電源ON時、ダイレクト再生モードに初期設定されます。)

コールボタン (CALL)

プログラムされた内容を確認するときに押します。

ランダムボタン (RANDOM)

ランダム再生をおこなうときに押します。
(31ページ参照)

タイムボタン (TIME)

再生中の曲の残り時間表示、ディスクの残り時間または録音中に録音可能時間表示に切り替えるときに押します。

電源ボタン (POWER)

クリアーボタン (CLEAR)

プログラムされた曲や入力中のタイトル文字を取り消すときに押します。

メニューボタン (MENU)

マニュアルサーチ・フォワードボタン (▶▶)

早送りするときに押します。
(29ページ参照)
タイトル入力時、カーソルを右に移動するときに押します。

エンターボタン (ENTER)

編集操作を確定するときに押します。

オートマチックサーチ・フォワードボタン (▶▶I)

曲の頭出しをするときに押します。
(28ページ参照)

ポーズボタン (PAUSE)

再生中または録音中に押すと、一時停止します。

プレイボタン (PLAY)

停止中または再生一時停止中に押すと、再生します。
録音一時停止中に押すと、録音を開始します。

リピートボタン (1/ALL)

リピート再生をおこなうときに押します。
(31ページ参照)

タイトル/キャラクターボタン (TITLE/CHARACTER)

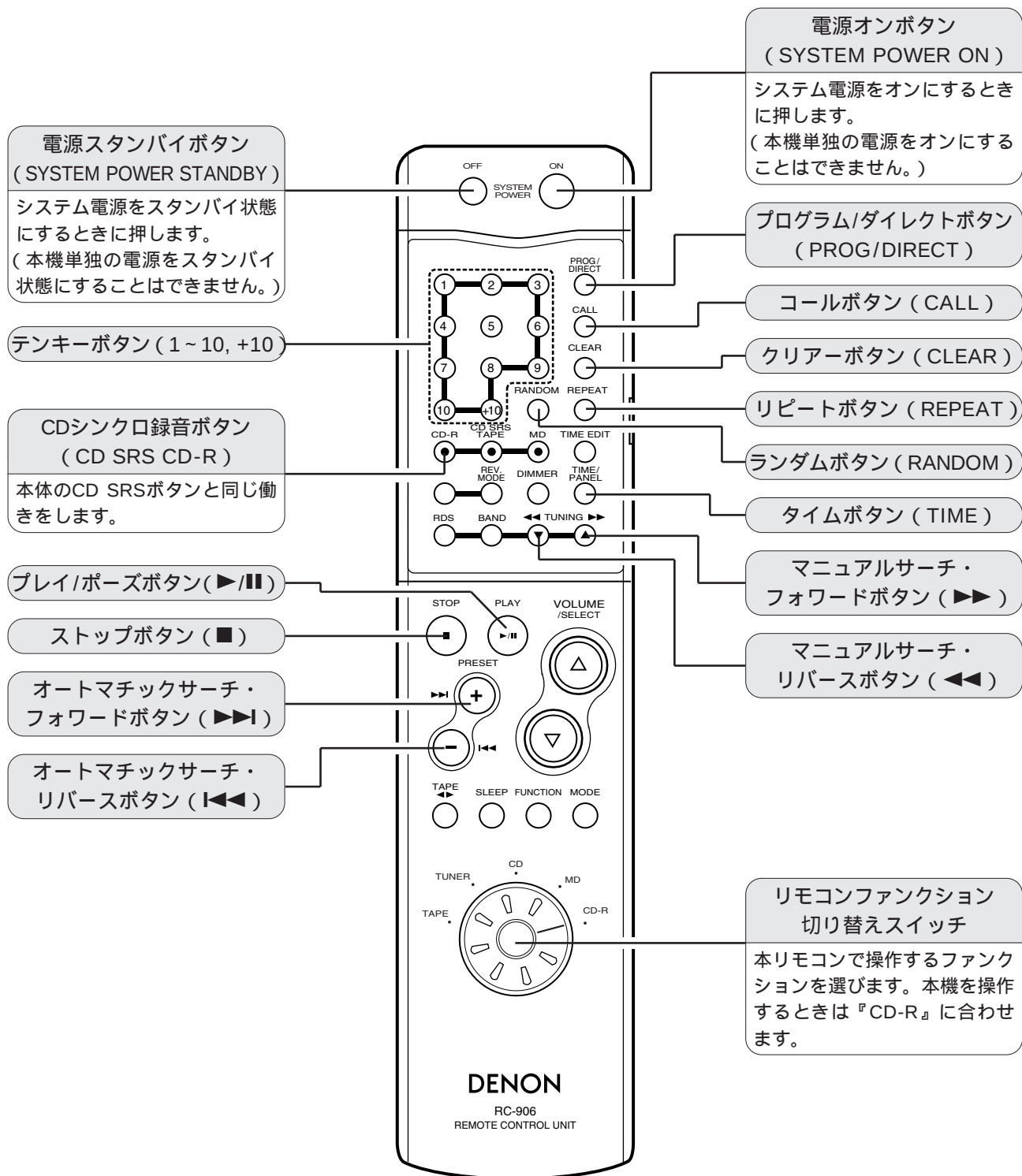
- ・ 時間表示をテキスト表示に切り替えるときに押します (時間表示に戻す場合は、TIMEボタンを押してください。)
- ・ テキストの入力中に文字の種類を変更するときに押します。

ファイナライズボタン (FINALIZE)

リモコンについて(つづき)

(4) システムリモコンボタンの名前とはたらき (RC-906 : PMA-201SAに付属)

プリメインアンプ (PMA-201SA) に付属のシステムリモコンのCDR関連ボタンについて説明します。
特に説明のないボタンは、本体または本機に付属のリモコン (RC-279) と同じはたらきをします。
(15ページ参照)



上記で説明していないボタンは、CDR-201SAで操作できません。

9 ディスクについて

本機で利用できるディスクについて

CD-RディスクとCD-RWディスク

本機で録音する場合、次のマークが付いたディスクを必ず使用してください。

・CD-Rディスク

・CD-RWディスク



および
『FOR CONSUMER』
『FOR CONSUMER USE』
『FOR MUSIC USE ONLY』
などの表示があるディスク

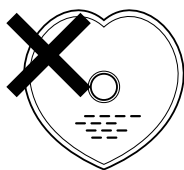
録音は、上記マークのないディスクではおこなうことができません。

上記のように表記されてあるディスクには著作権法上の定めによる、私的録音補償金が含まれています。

CDディスク

本機には右のマークが付いたCD（光学式デジタルオーディオディスク）を使用してください。

但し、ハート型や八角形などの特殊形状のCDは再生できません。機器の故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。



CDテキストディスク

本機ではテキスト情報が収録されているCDテキストディスクを再生したとき、テキスト情報をディスプレイに表示させることができます。

CDテキストディスクには右のマークが付いています。



ご注意

本機でテキスト表示ができる文字は次の通りです。それ以外の文字のときは、“ ” が表示されます。

・ アルファベット

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

・ 数字

0123456789

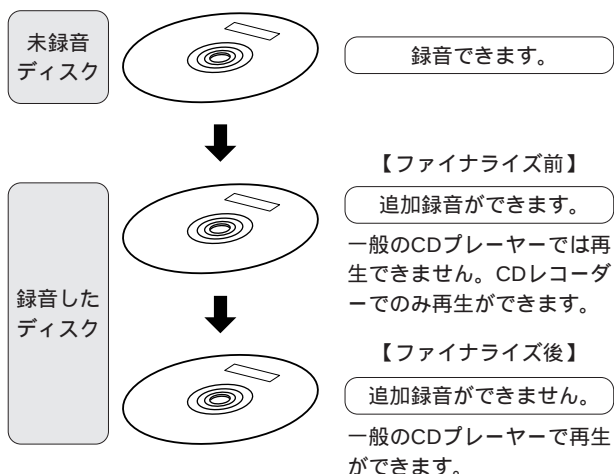
・ 記号

!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]

~`^_ (_ はスペース)

CD-Rディスクのファイナライズ処理

CD-Rディスクは録音終了後、ほとんどのCDプレーヤーで再生できるようにするためにファイナライズ処理が必要です。



ご注意

- ・ CD-Rディスクをファイナライズすると、追加録音ができなくなります。
- ・ CD-Rディスクに録音した内容は、消去することができません。

CD-RWディスクのファイナライズ処理

CD-RWディスクは、ファイナライズ処理をしてもほとんどのCDプレーヤーでは再生できません。CDレコーダーやCD-RWディスク対応プレーヤーでのみ再生できます。

PRESTA-201SAシリーズのCDプレーヤー（DCD-201SA）では、CD-R/RWのファイナライズされたディスクの再生に対応しています。

ディスクについて(つづき)

ディスクへの録音(記録)方式について

■ CD-Rディスク

- ・CD-Rディスクは、『記録用色素層』を備えています。記録用のレーザーが当たることによって、この層とプラスチック層の界面に熱による変形が起こり、信号が記録(録音)されるしくみです。録音内容はディスク寿命が終わるまで保持されます。
- ・録音後にファイナライズをおこなったディスクは、ほとんどのCDプレーヤーで再生することができます。

■ CD-RWディスク

- ・CD-RWディスクは、『位相変化層』を備えています。録音をおこなうことによりこの層が結晶質状態からアモルファス(非結晶)状態に変化して録音されるしくみです。
- ・CD-RWディスクでは録音された内容を消去することができます。消去はディスクのすべての曲と、最後の曲からさかのぼって指定される曲についておこなえます。
- ・ファイナライズしたCD-RWディスクは、CD-RWディスク対応に設計されたCDプレーヤーまたはCDレコーダーで再生できます。

曲番について：オートトラックマーキング機能

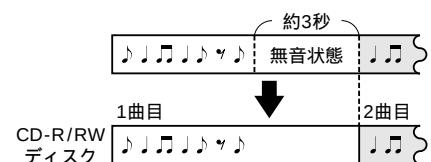
録音をすると、自動的に曲番が付けられます。追加録音したときは、順に曲番が上がります。

■ デジタル入力からの録音

- CDからデジタル録音するときは、曲が切り替わった後、最初の音を検知して曲番が更新されます。
MDからデジタル録音するときには、元の曲番と同じ曲番が自動的に付きます。
DATから録音するときは、スタートIDで曲の切り替わりを検知して曲番が付きます。
BS/CSチューナーなどから録音するときには、再生側のソースの曲間の無音部分を約3秒以上検出した後、次の曲がはじまるときに自動的に曲番が付きます。
- ・曲間の無音部分の雑音が大きいときには、曲番が正しく切り替わらないことがあります。
 - ・曲中の信号レベルが極めて低いときに、曲番が切り替わることがあります。

■ アナログ入力からの録音

- 再生側のソースの曲間の無音部分を約3秒以上検出した後、次の曲がはじまるときに自動的に曲番が付きます。
- ・無音部分に雑音があるときなどは、正しい位置で曲番が切り替わらないことがあります。
 - ・曲中の信号レベルが極めて低いときに、曲番が切り替わることがあります。



アナログ録音では、オートトラックマーキング機能のオン/オフを設定することができます。
(25ページの『アナログオートトラックマーキング(ATM)の設定』を参照してください。)

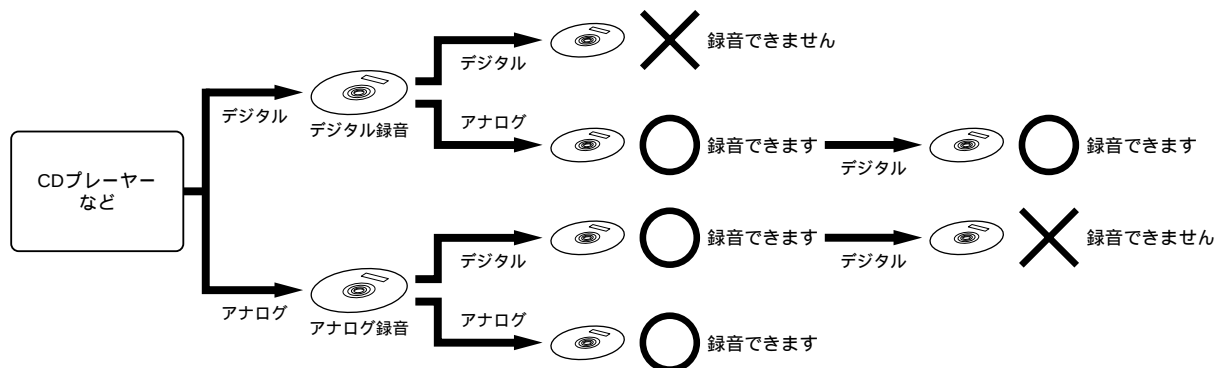
ご注意

- ・DATのトラック切り替え信号(スタートID)は、曲がはじまってから少し遅れて記録されているため、そのままDATから録音すると1曲目の頭が欠けたり、各曲がはじまってから少し遅れて曲番が切り替わります。そのときは、DATのスタートIDを正しい位置に付け直してから録音してください。
- ・曲中に極めて低い信号を含むアナログソースを録音される場合は、オートトラックマーキング機能をオフにしてからアナログ録音をおこない、手動で曲番を付けてください。(38ページ参照)
- ・アナログソースやMD/DAT以外のデジタルソースを録音する場合に低過ぎる録音レベルを設定すると、正しい位置で曲番が付かないことがあります。適正な録音レベルにしてください。

ディスクについて(つづき)

デジタルコピーについて

デジタル録音したCD-R/RWディスクやMDをさらに別のCD-R/RWディスクやMDなどにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により定められた規格です。



10 ディスクの取り扱いとご注意

ディスクの持ちかた

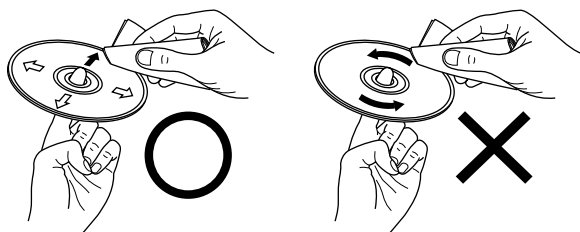
ディスクを装着したり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

信号記録面には、指紋などを付けないようにしてください。



ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。ディスクの信号には影響しませんが、音質が低下したり音が途切れることがあります。また、CD-R/RWディスクの表面が汚れていると、正しく録音されない場合があります。
- 拭き取るときは、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



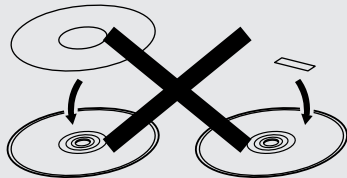
内周から外周方向へ軽く拭く。円周に沿っては拭かない。

ご注意

- ・レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。



- ・市販のラベルプリンターシールやその他のシールを貼らないでください。正しい録音や再生ができなくなる場合があります。



取り扱いについてのご注意

- ・指紋、油、ゴミなどを付けないでください。
- ・表面に傷を付けないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- ・曲げたりしないでください。
- ・熱を加えないでください。
- ・中心の穴を大きくしないでください。
- ・レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- ・屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移しますと表面に水滴が付くことがあります。ヘアドライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- ・再生後は必ずディスクを取り出してください。
- ・ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- ・次のような場所には置かないでください。
 1. 直射日光が長時間当たるところ
 2. 湿気、ほこりなどが多いところ
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクを装着する際のご注意

- ・ディスクは1枚だけ装着してください。2枚以上重ねて装着すると故障の原因になり、ディスクを傷付けることにもなります。
- ・8cmディスクは、アダプターを使用せずに確実にディスクガイド（凹部）に合わせて装着してください。正しく装着しないとディスクが脱落し、ディスクホルダーが開かなくなる場合があります。
- ・ディスクホルダーが引き込まれるときに、指を挟まないように注意してください。
- ・ディスク以外のものをディスクトレイに載せないでください。
- ・ひび割れ、変形または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- ・ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものは使用しないでください。そのまま使用しますと、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

11 CD-R/RWの規格上の制約について

CDレコーダーの再生についての規格は、従来のCDプレーヤーの規格を元に作られていますが、録音については、従来のカセットデッキやMDレコーダーなどとは方式が異なります。次のCD-R/RWディスクのいくつかの制約事項をよくご理解の上、お楽しみください。

オーディオ用CD-R/RWディスクの制約について

- 本機で録音できるCD-R/RWディスクは、オーディオ用のみです。オーディオ用以外のパソコンデータ用CD-R/RWディスクなどを録音しようとする、と、“*Not AudioDisc*”が表示されます。(17ページの『本機で利用できるディスクについて』を参照)
- CD-Rディスクには1度のみ録音できます。録音した内容は消去することができません。
- CD-RWディスクは、録音した内容を消去することができます。ファイナライズしてある場合は、アンファイナライズの操作をおこなってから消去してください。
- CD-Rディスクで録音を失敗すると消去することができませんので、録音操作に慣れるまではCD-RWディスクをお使いいただくことをお勧めします。

本機での録音上の制約について

- CD-RディスクとCD-RWディスクの録音の操作手順は同じです。
- すでに録音してあるディスクに追加録音をおこなうときは、最終曲の最後を検知して、そこから録音をはじめます。
- 録音可能残り時間が約8秒以下のCD-R/RWディスクでは録音スタンバイモードの設定ができません。このときは“*Disc Full*”が表示されます。
- 録音時間が4秒に満たない曲は録音することができません。録音をはじめてから4秒間は録音を停止させることはできません。
- 1枚のCD-R/RWディスクには、最大99曲まで録音することができます。録音が99曲を超えると“*Disc Full*”が表示され、これ以上の録音ができなくなります。
- デジタル録音したCD-R/RWディスク、MD、DATなどからデジタル録音をおこなうことはできません。デジタル録音しようとする、と、“*Copy Prohibit*”が表示されます。このときはアナログ入力から録音してください。(19ページの『デジタルコピーについて』を参照)
- 本機では、CD-ROMなどのオーディオ以外の信号は録音できません。このとき“*Copy Prohibit*”が表示されます。
- CDグラフィックスやCD-TEXTのようにオーディオ信号以外のデータを含んだディスクから録音すると、オーディオ信号のみ録音されますが、それ以外のデータは記録されません。
- DVD(ドルビーデジタルやDTSなどの圧縮されたオーディオ信号)を録音することはできません。

他のCDプレーヤーとのディスクの互換性について

- 本機で録音したCD-Rディスクにファイナライズ処理をおこなうと、ほとんどのCDプレーヤーで再生することができます。(17ページの『CD-Rディスクのファイナライズ処理』を参照)
- 本機で録音したCD-RWディスクにファイナライズ処理をおこなうと、CD-RWディスク対応のCDプレーヤーや他のCDレコーダーでのみ再生することができます。(17ページの『CD-RWディスクのファイナライズ処理』を参照)

ご注意

- 正確に録音をおこなうために、30 以下の周囲環境で録音してください。
- 録音中に本機に衝撃を与えると、本機は録音を停止することがあります。停止すると、ディスクを正常に使えなくなります。

12 ディスクホルダーの開閉とディスクの入れかた

(1) ディスクホルダーの開閉

電源を入れます。

ディスクホルダー開閉ボタンを押します。

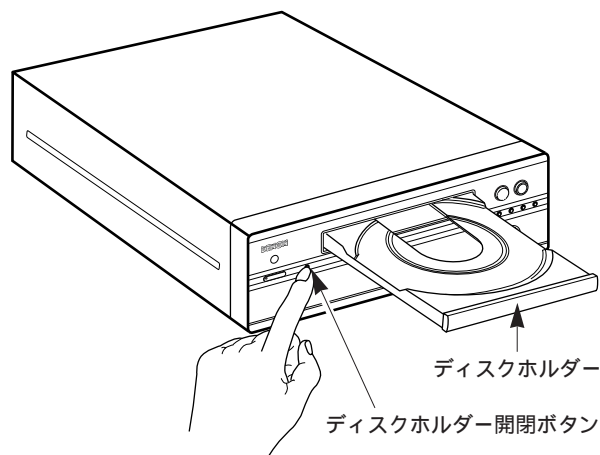
・“Open”が表示され、ディスクホルダーが開きます。

テキスト情報の入力操作をおこなってファイナライズしていない場合は、テキスト情報をすべて消去しないとディスクホルダーは開きません。

“Text Erase OK?”が約2秒間表示されます。その間にENTERボタンを押すと、テキスト情報が消去され、ディスクホルダーを開けることができます。

ご注意

ディスクホルダーを開閉するときは、必ず電源を入れてください。



(2) ディスクの入れかた

ディスクを正しく持ち、レーベル面を上にして入れます。

・ディスクホルダーが完全に開いた状態でディスクを入れてください。

・12cmディスクは外周ディスクガイド(図1)に合わせ、8cmディスクは内周ディスクガイド(図2)に合わせて載せてください。

ディスクホルダー開閉ボタンを押すと、ディスクは自動的に装着されます。

・または、プレイ/ポーズボタン(▶/||)を押すと、ディスクが装着されてから再生をはじめます。

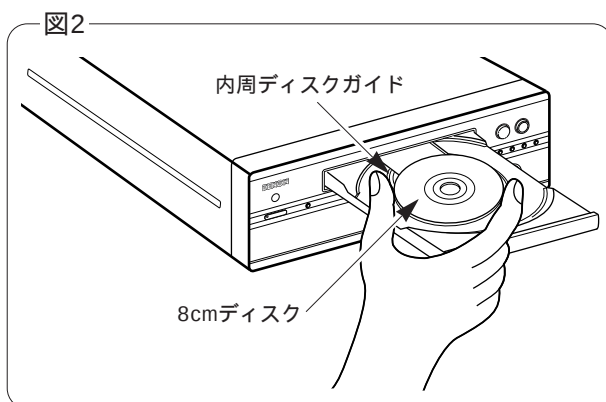
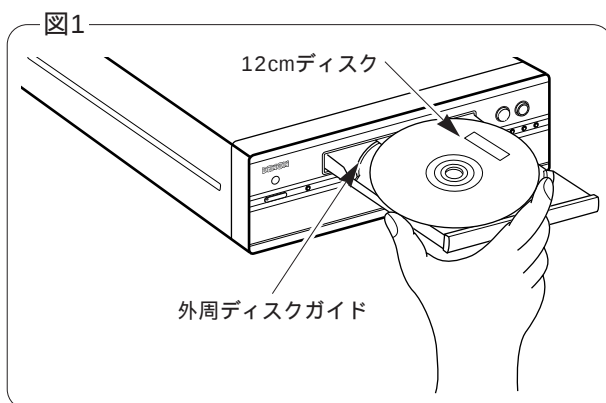
・“Close”が表示された後、“TOC Reading”が表示されます。

・CD-RWディスクやファイナライズされていないCD-Rディスクを装着したときは、“TOC Reading”に続いて最適な録音をおこなうための自動調整動作に入り、“Now OPC”が表示されます。自動調整動作は最長で約1分かかります。

本機にすでに自動調整をおこなっているディスクの場合は調整をおこないませんが、周囲温度などの条件によっては自動調整をおこなう場合があります。

・次に、装着されたディスクの種類とディスクの総曲数および総時間が表示されます。

・テキスト情報が収録されているディスクが装着されているときは、テキスト情報がスクロール表示されます。



ご注意

- ・万一、指などを挟んだ場合は、慌てずにディスクホルダー開閉ボタン(▲)を押してください。
- ・電源が切られている状態でディスクホルダーを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- ・ディスクホルダーに異物を入れないでください。故障の原因になります。
- ・オーディオ用のCDディスク、CD-Rディスク、CD-RWディスクのみ受け付けます。それ以外のディスクを装着したときは“Not AudioDisc”が表示されます。(17ページの『本機で使えるディスクについて』を参照)
- ・CD-RディスクやCD-RWディスクに最良の録音をおこなうために、ディスクの情報面には指紋、傷、ほこりが無いことを確かめてください。

13 各種設定のしかた

各種設定をおこなうことで、多様な録音操作などがおこなえるようになります。

設定をおこなわなくても通常の再生や録音をおこなうことができます。

下記4項目の設定をおこないます。各設定項目ごとに下記のメッセージが表示されます。

各種設定は、停止中におこなってください。本体の電源をオフにしても、設定された項目は2、3日間記憶されています。

本機がスタンバイ状態（電源インジケーターが赤色）のときは、各種設定は保持されています。

【初期設定】

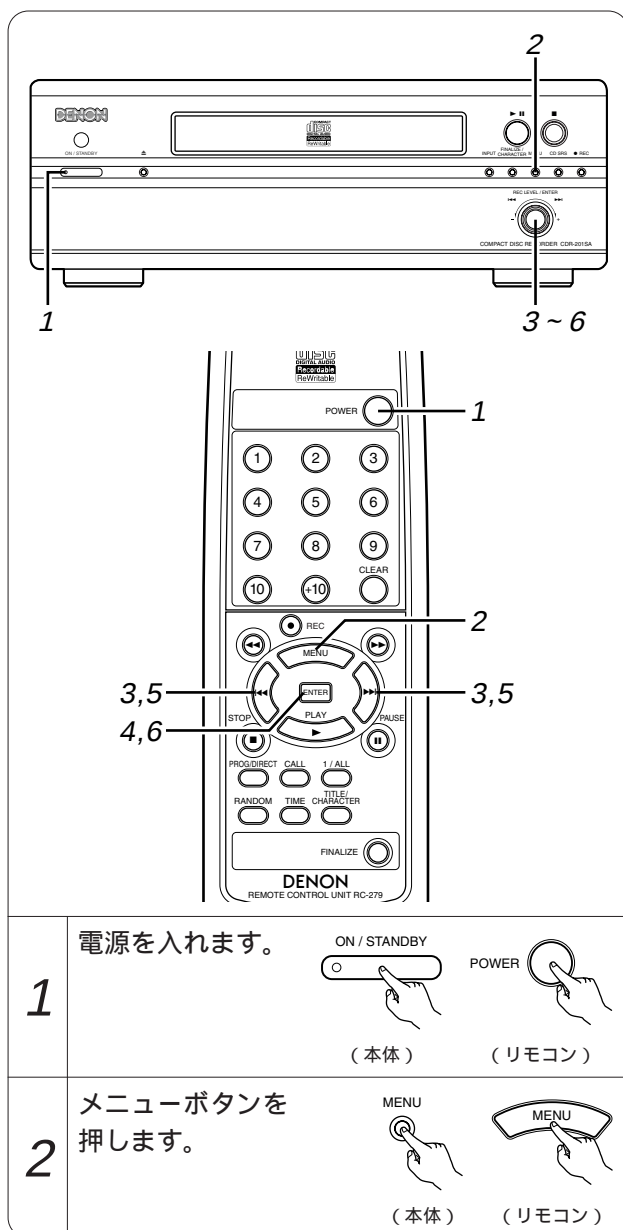
シンクロ録音モード	"Sync Rec Set?"	オフ
アナログシンクロ録音レベル	"Ana.Synch.Lev?"	-48dB
スキップ再生	"Skip Play?"	オフ
アナログオートトラックマーキング	"Analog A.T.M?"	オン

(1) シンクロ録音モードの設定

シンクロ録音モードの設定をおこないます。（37ページ参照）

PRESTA-201SAシリーズとシステム接続時、本モードの設定はできません。

CDシンクロ録音機能をご使用ください。（53ページ参照）



3	本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、“Sync Rec Set?”を表示させます。 (本体) (リモコン)
4	エンターボタンを押して、シンクロ録音の選択モードを確定します。 (本体) (リモコン)
5	本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、シンクロ録音モードを選びます。 ・選択されているシンクロ録音モードが点滅します。 (本体) (リモコン)
6	エンターボタンを押して、シンクロ録音モードを確定します。 ・選択したシンクロ録音モード (“Disc Synchro”、“1TrSynchro”または “Synchro Off”)が表示されます。 (本体) (リモコン)

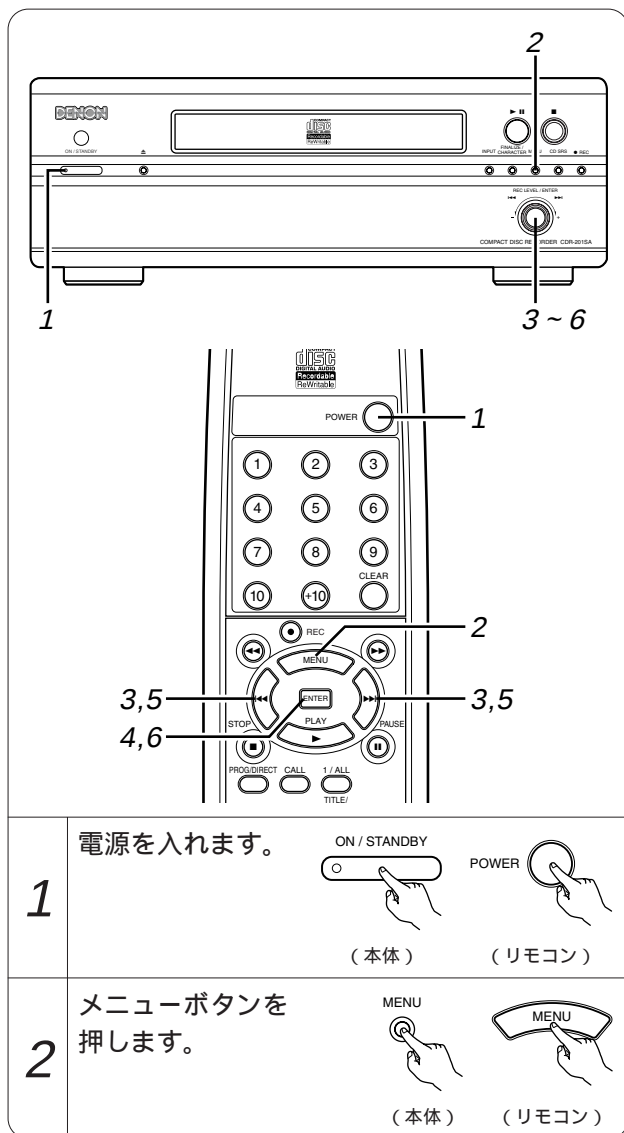
各種設定のしかた(つづき)

(2) アナログシンクロ録音レベルの設定

アナログ入力で、シンクロ録音をおこなうときのシンクロ録音レベルの設定をおこないます。

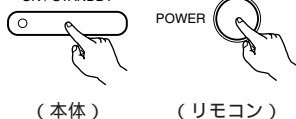
アナログ入力でシンクロ録音をおこなうとき、入力されている信号のレベルが設定値以上になると録音を開始し、設定値以下の部分が約10秒以上続くと録音停止状態になります。

PRESTA-201SAシリーズとシステム接続時、本モードの設定はできません。



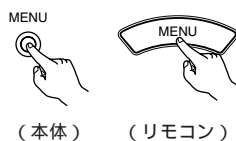
1

電源を入れます。



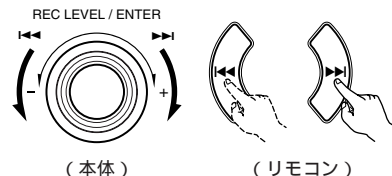
2

メニューボタンを押します。



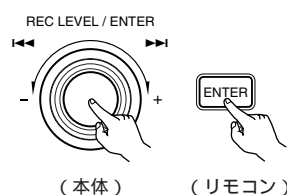
3

本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、“Ana. Sync. Lev?”を表示させます。



4

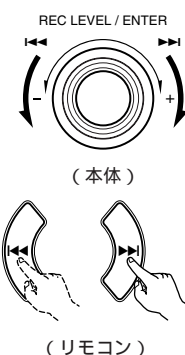
エンターボタンを押して、シンクロ録音レベルの選択モードを確定します。



5

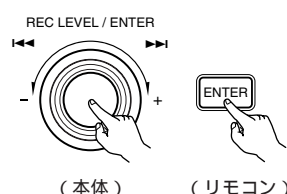
本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、シンクロ録音レベルを設定します。

・設定値がマルチ表示部に表示されます。
設定範囲は - 48dB ~ - 30dB で、6dBステップずつ可変できます。



6

エンターボタンを押して、シンクロ録音レベルを確定します。
・“Complete”が表示されます。



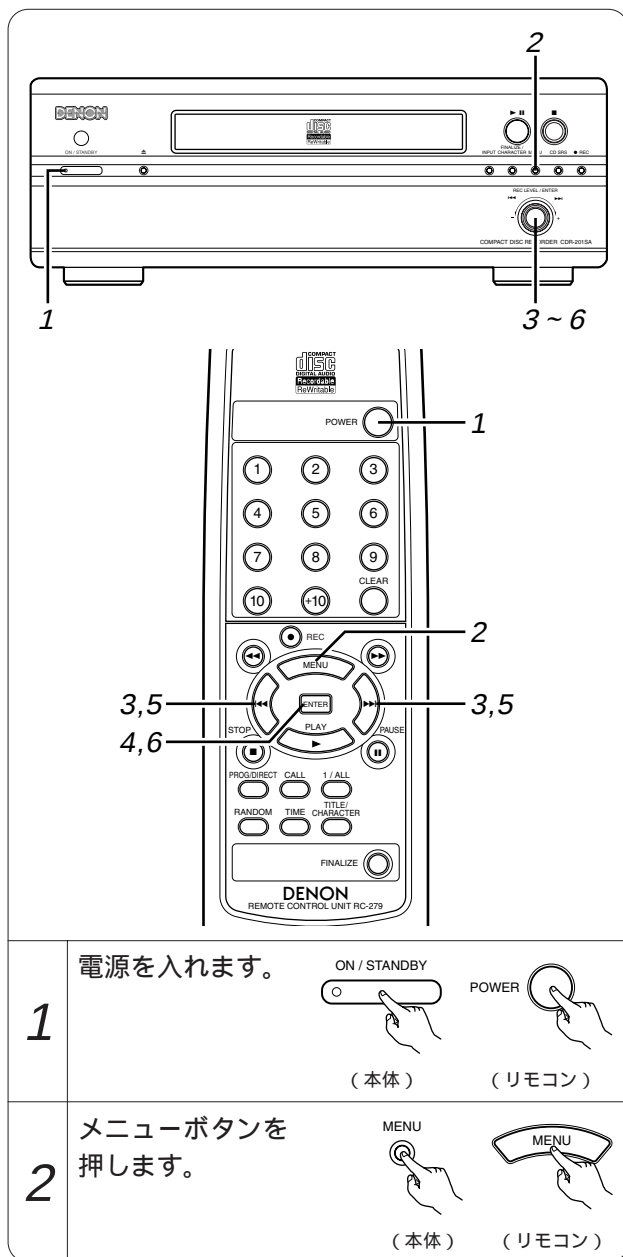
ご注意

ノイズレベルの大きいソースの場合、設定値が低いと曲中・曲間に関わらず、録音を開始してしまうことがあります。

各種設定のしかた(つづき)

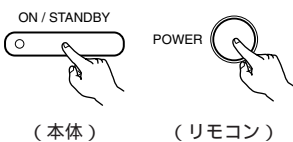
(3) アナログオートトラックマーキング(ATM)の設定

アナログ入力録音をおこなうとき、自動的に曲番を付けたり、一続きの曲として記録したりする設定をおこないます。(34ページ参照)



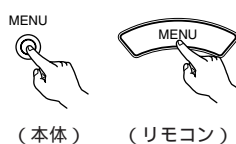
1

電源を入れます。



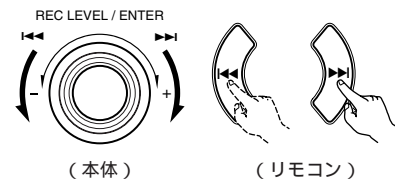
2

メニューボタンを押します。



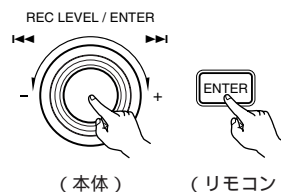
3

本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、“Analog A.T.M?”を表示させます。



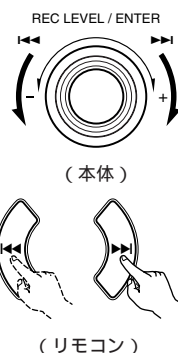
4

エンターボタンを押して、オートトラックマーキングの選択モードを確定します。



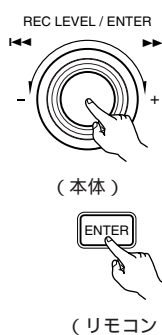
5

本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、オートトラックマーキングのオン/オフを設定します。
・選択されているモードが点滅します。



6

エンターボタンを押して、オートトラックマーキングのオン/オフを確定します。
・選択したオートトラックマーキングのモード(“A.T.M On”または“A.T.M Off”)が表示されます。



各種設定のしかた(つづき)

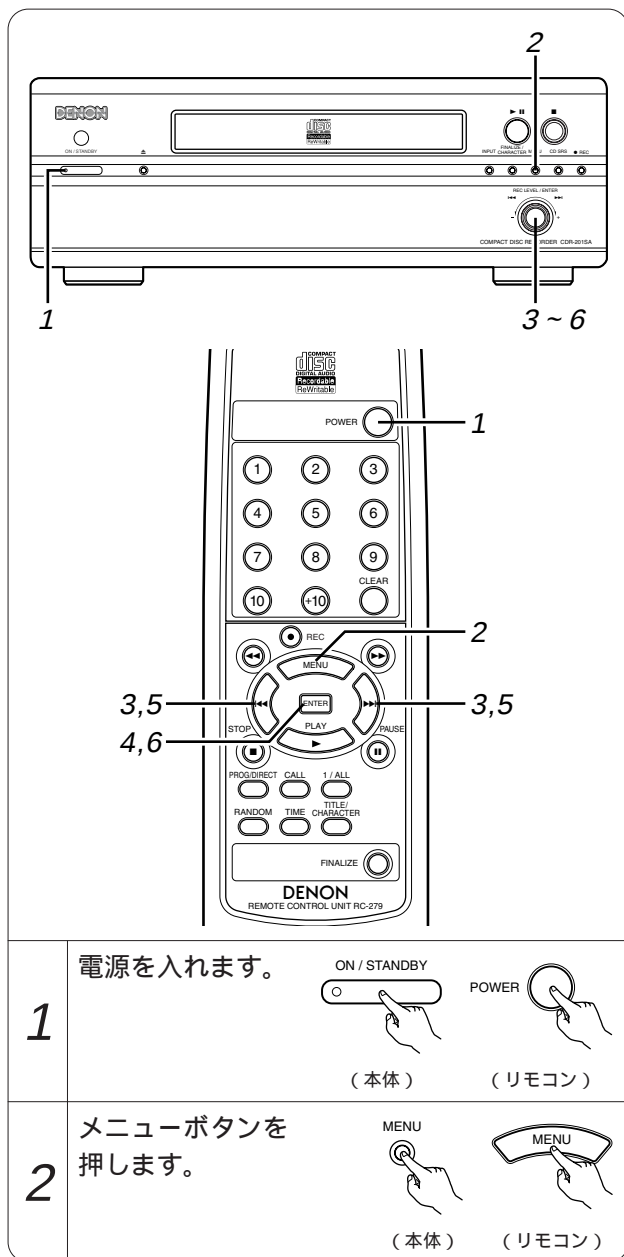
(4) スキップ再生モードの設定

本機において、スキップ登録曲をスキップするか再生するかを設定することができます。

(スキップ曲の登録は、44ページの『スキップ曲を登録する』を参照してください。)

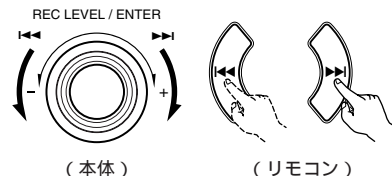
本設定は、ファイナライズしていないディスクに対して有効です。

(ファイナライズ済みのディスクの場合、スキップ再生モードは自動的にオンになります。)



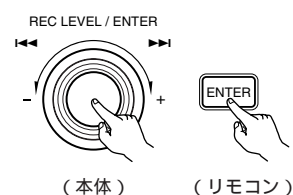
3

本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、“Skip Play?”を表示させます。



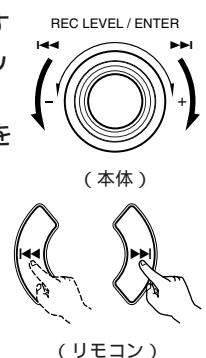
4

エンターボタンを押して、スキップ再生の選択モードを確定します。



5

本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、スキップ再生のオン/オフを設定します。
・選択されているモードが点滅します。



6

エンターボタンを押して、スキップ再生のオン/オフを確定します。
・選択したスキップ再生のモード (“Skip Play On”または “Skip Play Off”) が表示されます。



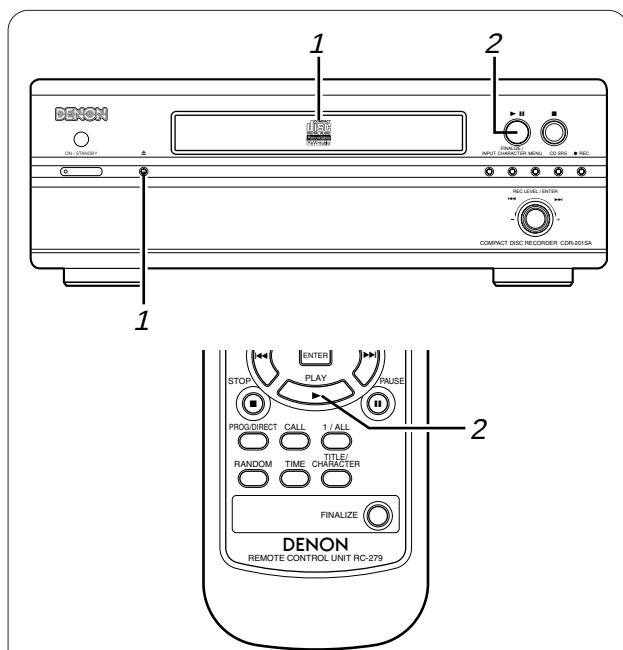
ご注意

スキップ再生をオンにしても、総曲数、総再生時間の表示は変わりません。

14 ディスクの再生のしかた

(1) 通常の再生のしかた

1 再生のはじめかた



1 ディスクホルダーに、再生したいディスクを装着します。

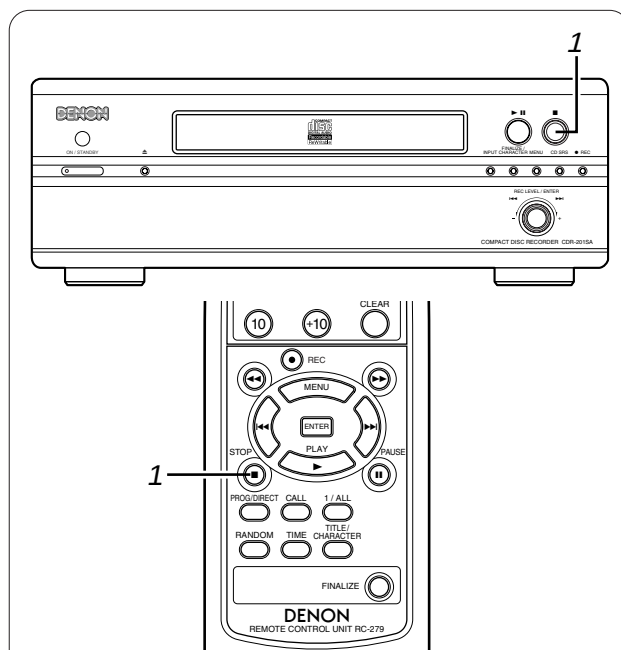
(本体)

2 本体のプレイ/ポーズボタンまたはリモコンのプレイボタンを押します。

・再生をはじめます。

(本体) (リモコン)

2 再生の止めかた



1 再生中にストップボタンを押します。

・再生が停止します。

(本体) (リモコン)

ディスクに収録されているすべての曲の再生が終わると、自動的に停止します。

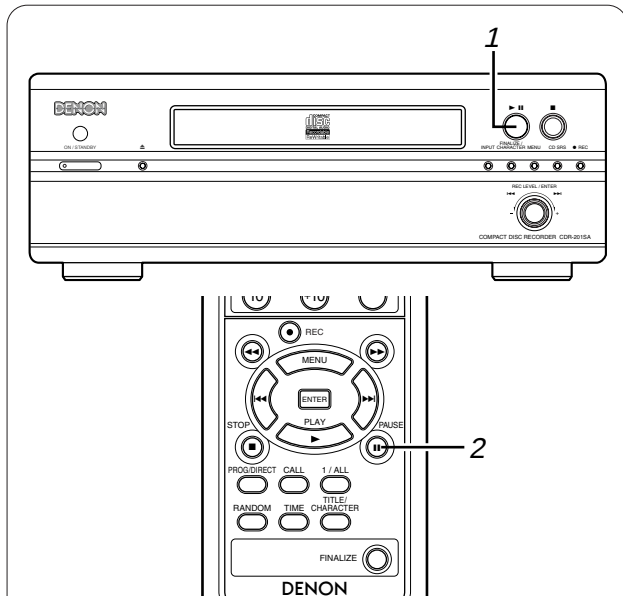
ご注意

- ・ディスクが装着されていない場合、およびディスクを裏返しに装着した場合、ディスクの情報が正しく読めない場合は、表示部が“*No Disc*”表示になります。
- ・スタンバイ状態でディスクホルダー開閉ボタン(▲)やプレイ/ポーズボタン(▶/||)を押すと電源が入り、ディスクホルダーの開閉動作や再生動作をおこないます。
- ・ディスクに、セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因になることがあります。

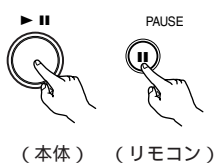
ディスクの再生のしかた(つづき)

(2) 再生途中で一時的に止めておくとき 『ポーズ』

再生の途中で再生を一時止め、再びその位置から聞くことができます。



再生中に本体のプレイ/ポーズボタンまたはリモコンのポーズボタンを押します。

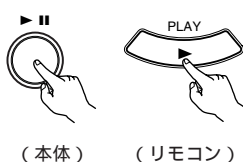


再生中に本体のプレイ/ポーズボタンまたはリモコンのポーズボタンを押す。
→一時停止します。

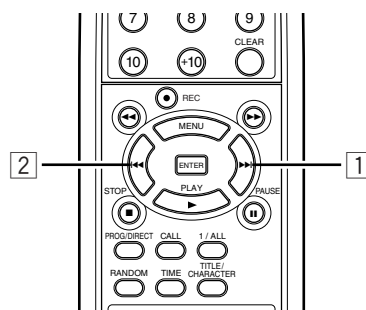
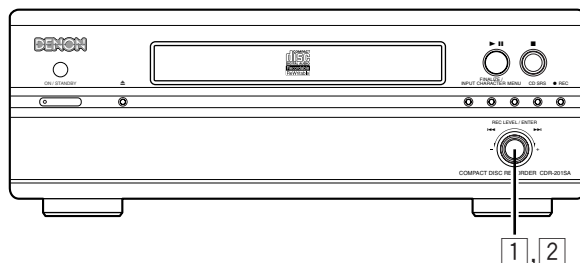


一時停止中に本体のプレイ/ポーズボタンまたはリモコンのプレイボタンを押す。
→再生をはじめます。

一時停止した位置から再び再生をはじめるときは、もう一度本体のプレイ/ポーズボタンまたはリモコンのプレイボタンを押してください。



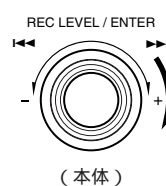
(3) 再生途中で曲の頭出しをするとき 『オートマチックサーチ』



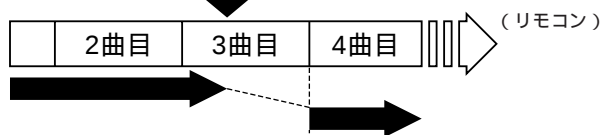
1 次の曲の頭出し

本体のジョグダイヤルを右(Ω)に回すか、リモコンの▶▶▶Iボタンを押します。

・さらに本体のジョグダイヤルを右(Ω)に回すか、リモコンの▶▶▶Iボタンをくり返し押すと、次々と後ろの曲の頭出しをおこなうことができます。



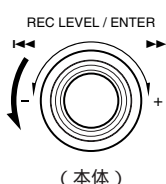
本体のジョグダイヤルを右(Ω)に回すか、リモコンの▶▶▶Iボタンを押す。



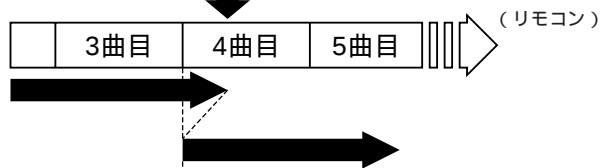
2 聞いている曲の頭出し

本体のジョグダイヤルを左(Ω)に回すか、リモコンのI◀◀◀ボタンを押します。

・さらに本体のジョグダイヤルを左(Ω)に回すか、リモコンのI◀◀◀ボタンをくり返し押すと、次々と前の曲の頭出しをおこなうことができます。



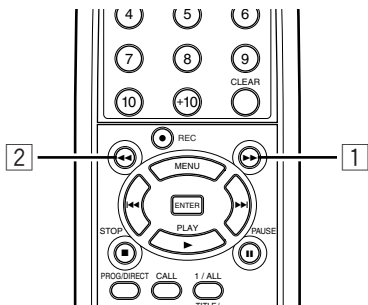
本体のジョグダイヤルを左(Ω)に回すか、リモコンのI◀◀◀ボタンを押す。



ディスクの再生のしかた(つづき)

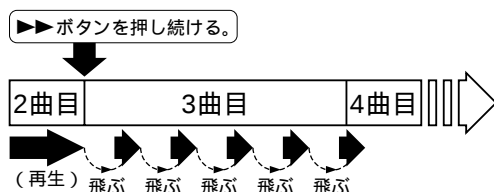
(4) 早聞きしながら好きな部分を探するとき (リモコンのみ) 『マニュアルサーチ』

飛び飛びに早聞きすることができます。
長い曲の中から好きな部分を探して、途中から聞くときに便利です。



1 早送りするとき

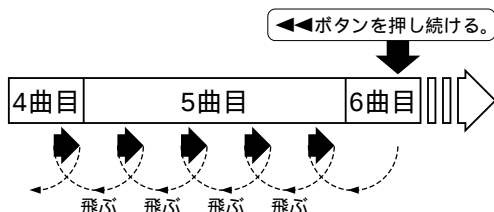
再生中に▶▶ ボタンを押し続けます。
・ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。



ボタンを押し続けて、収録されている最終曲の再生が終わると、自動的に停止します。

2 早戻しするとき

再生中に◀◀ ボタンを押し続けます。
・ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。

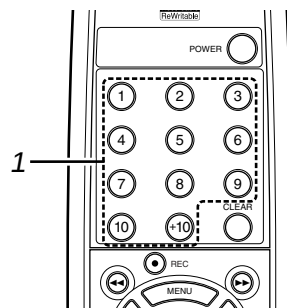


ボタンを押し続けて、収録されている最初の曲の頭まで戻ると、マニュアルサーチは終了して再生をはじめます。

ご注意

マニュアルサーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがありますが、故障ではありません。

(5) 好きな曲を聞くととき (リモコンのみ) 『ダイレクト再生』



テンキーまたは+10ボタンを押して、聞きたい曲番を選びます。

1

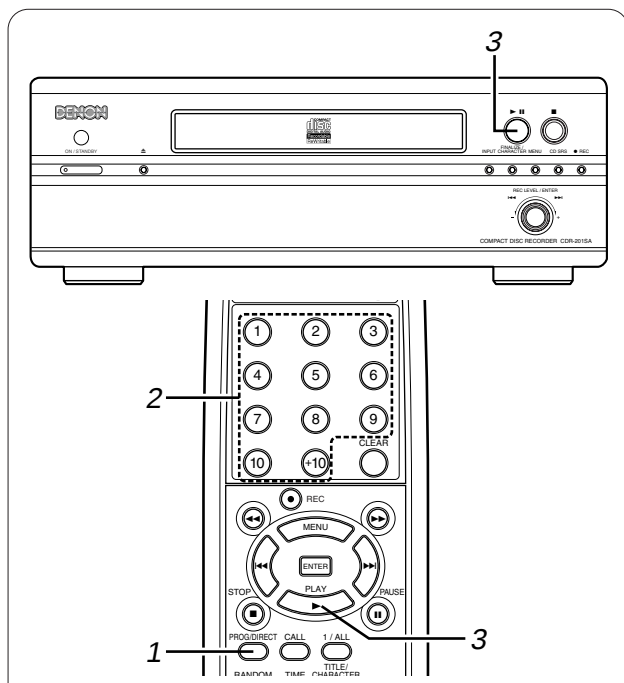
・例えば、4曲目を聞きたいときは[4]、12曲目を聞きたいときは[+10]、[2]、20曲目を聞きたいときは[+10]、[10]と押してください。
その曲から再生をはじめます。

ディスクの再生のしかた(つづき)

(6) 聞きたい曲を好きな順番に聞くととき

『プログラム再生』

ディスクに収録されている曲の中から聞きたい曲を選び、好きな順番に聞くことができます。
最大30曲までプログラムすることができます。



ご注意

- ・プログラムされた状態でディスクホルダーを開いたとき、プログラム内容は消去され、ダイレクトモードになります。
- ・プログラム設定中に総再生時間が99分59秒以上になると正しい時間表示はできませんが、プログラムすることはできます。
- ・プログラム設定中にランダムボタンを押すと、プログラムモードが解除され、ランダムモードになります。
- ・プログラム再生中に1曲リピート再生はできません。
- ・未ファイナライズディスクでは、プログラム再生はできません。

1

停止中にプログラム/ダイレクトボタンを押します。
・“PROG”表示が点灯します。



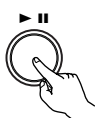
(リモコン)

2

テンキーまたは+10ボタンを押して、プログラムしたい曲番を選びます。
・例えば、3曲目→12曲目→7曲目とプログラムしたい場合は、**[3]**、**[+10]**、**[2]**、**[7]**と押してください。

3

本体のプレイ/ポーズボタンまたはリモコンのプレイボタンを押します。
・プログラムされた順に再生します。



(本体)



(リモコン)

プログラム内容を確認するときは、コールボタンを押してください。
1回押すたびに、プログラムされた内容が順次表示されます。



(リモコン)

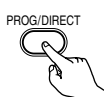
プログラム内容を変更するときは、停止中にクリアーボタンを押してください。
1回押すたびに、プログラムされた最後の曲から順次消されます。



(リモコン)

もう一度テンキーまたは+10ボタンを押すと、続けてプログラムされます。

プログラム内容をすべて取り消すときは、停止中にプログラム/ダイレクトボタンまたはディスクホルダー開閉ボタンを押してください。



(リモコン)

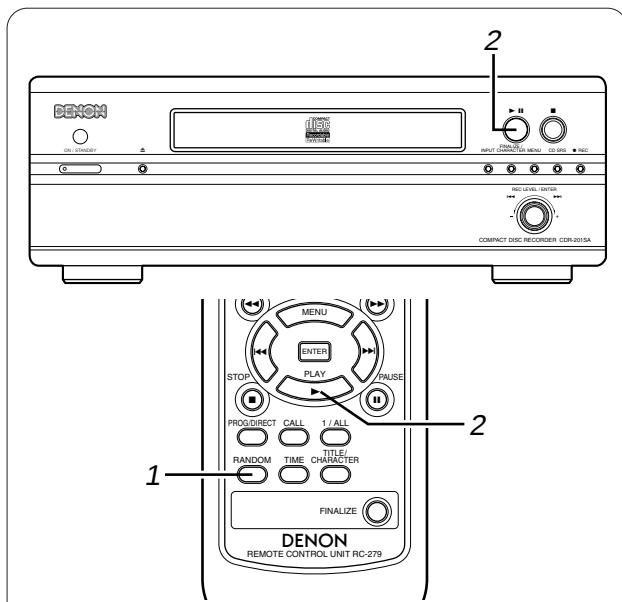


(本体)

ディスクの再生のしかた(つづき)

(7) 順不同に聞くととき (リモコンのみ) 『ランダム再生』

CDに収録されている曲をランダム(無作為)な順序で1回ずつ聞くことができます。



1

停止中にランダムボタンを押します。
・“RANDOM”表示が点灯します。



(リモコン)

2

本体のプレイ/ポーズボタンまたはリモコンのプレイボタンを押します。
・自動的に選曲して、再生をはじめます。



(本体)



(リモコン)

ランダム再生を止めるときは、停止してからもう一度ランダムボタンを押してください。

ランダム再生中にリモコンの1リピートボタンを押すと、一通りのランダム再生後、違った曲順でランダム再生をおこないます。以後毎回違った曲順でランダム再生が楽しめます。



(リモコン)



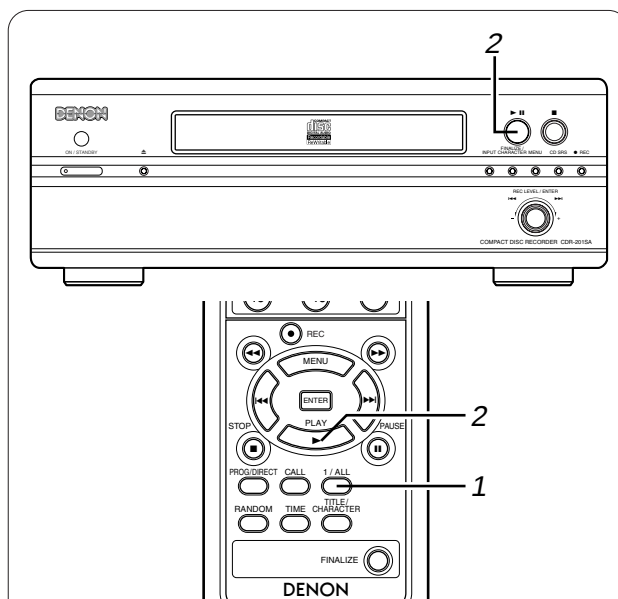
(リモコン)

ご注意

- ・ランダム再生中に1曲リピート再生はできません。
- ・ランダムモードに設定されているとき(停止中)にプログラム/ダイレクトボタンを押すと、ランダムモードが解除され、プログラムモードになります。
- ・未ファイナライズディスクでは、ランダム再生はできません。

(8) くり返して聞くととき 『リピート再生』

1 全曲をくり返して聞くととき
『全曲リピート再生』



1

リピートボタンを続けて2回押します。
・“RPT ALL”表示が点灯します。



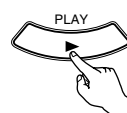
(リモコン)

2

本体のプレイ/ポーズボタンまたはリモコンのプレイボタンを押します。
・ディスクの再生をはじめます。



(本体)



(リモコン)

再生中にリピートボタンを押して、“RPT ALL”表示にした場合も、再生中のディスクを全曲リピート再生します。

プログラム再生中にリピートボタンを押した場合は、プログラムした順に再生をくり返します。

全曲リピート再生を止めるときは、“RPT”表示が消灯するまでリピートボタンを押してください。



(リモコン)

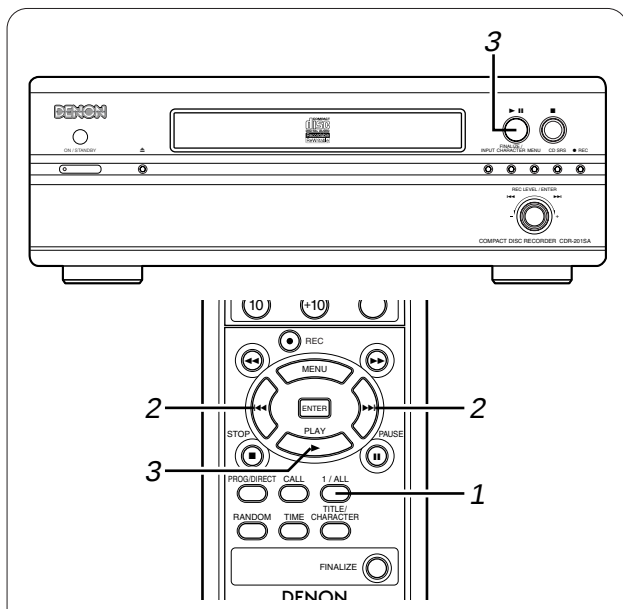
ご注意

未ファイナライズディスクでは、全曲リピート再生はできません。

ディスクの再生のしかた(つづき)

2 1曲のみをくり返して聞くととき

『1曲リピート再生』



1

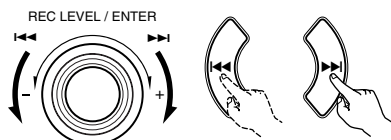
リピートボタンを1回押します。
・“RPT 1”表示が点灯します。



(リモコン)

2

本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、聞きたい曲番を選びます。

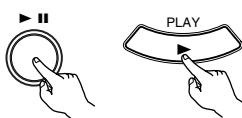


(本体)

(リモコン)

3

本体のプレイ/ポーズボタンまたはリモコンのプレイボタンを押します。



(本体)

(リモコン)

・選択した曲の再生を
はじめます。

・選択した曲の再生が終わると、その曲の頭に戻って再生をくり返します。

【例】3曲目を選んだとき



この動作を何回もくり返す。

再生中にリピートボタンを1回押した場合も、再生中の曲を1曲リピート再生します。



(リモコン)

リピートボタンを1回押す。



この動作を何回もくり返す。

操作2の後で、リモコンのテンキーおよび+10ボタンを押して曲番を選ぶと、選択された曲の1曲リピート再生をはじめます。



1曲リピート再生を止めるときは、“RPT” (リモコン) 表示が消灯するまで、リピートボタンを押してください。

ご注意

- ・プログラム再生中およびランダム再生中に、1曲リピート再生はできません。
- ・未ファイナライズディスクでは、1曲リピート再生はできません。

15 録音のしかた

録音のしかたは、下記の通り3種類あります。CD、MDなどから音楽を録音するときは、ディスクシンクロ録音/トラックシンクロ録音が便利です。

PRESTA-201SAシリーズとシステム接続している場合は、ディスクシンクロ録音/トラックシンクロ録音はおこなえません。CDシンクロ録音機能の*SR51disc Rec*/*SR51stTr Rec*をご使用ください。

【ディスプレイの表示内容】

マニュアル録音	• 録音の開始や停止を手動で操作します。 (34ページ参照)	マルチ表示部: “**Tr 00m 00s” モード表示部: 表示なし
ディスクシンクロ録音	• 全曲をシンクロ(同期)録音します。 CDやMDを1枚丸ごと録音するときに便利です。 (37ページ参照)	マルチ表示部: “Disc Synchro” モード表示部: “SYNC”
トラックシンクロ録音	• 1曲だけをシンクロ(同期)録音します。 CDシングルなどの1曲目だけを録音するときに便利です。(37ページ参照)	マルチ表示部: “1Tr Synchro” モード表示部: “1Tr SYNC”

録音済みのディスクを使用するときは、残り時間に注意してください。

録音済みのディスクの内容をすべて消去して、ディスクの頭から録音したいときは、全曲消去操作をおこなってから録音してください。(全曲消去のしかたは、41ページの『すべての曲の消去(全曲消去)のしかた』を参照してください。)

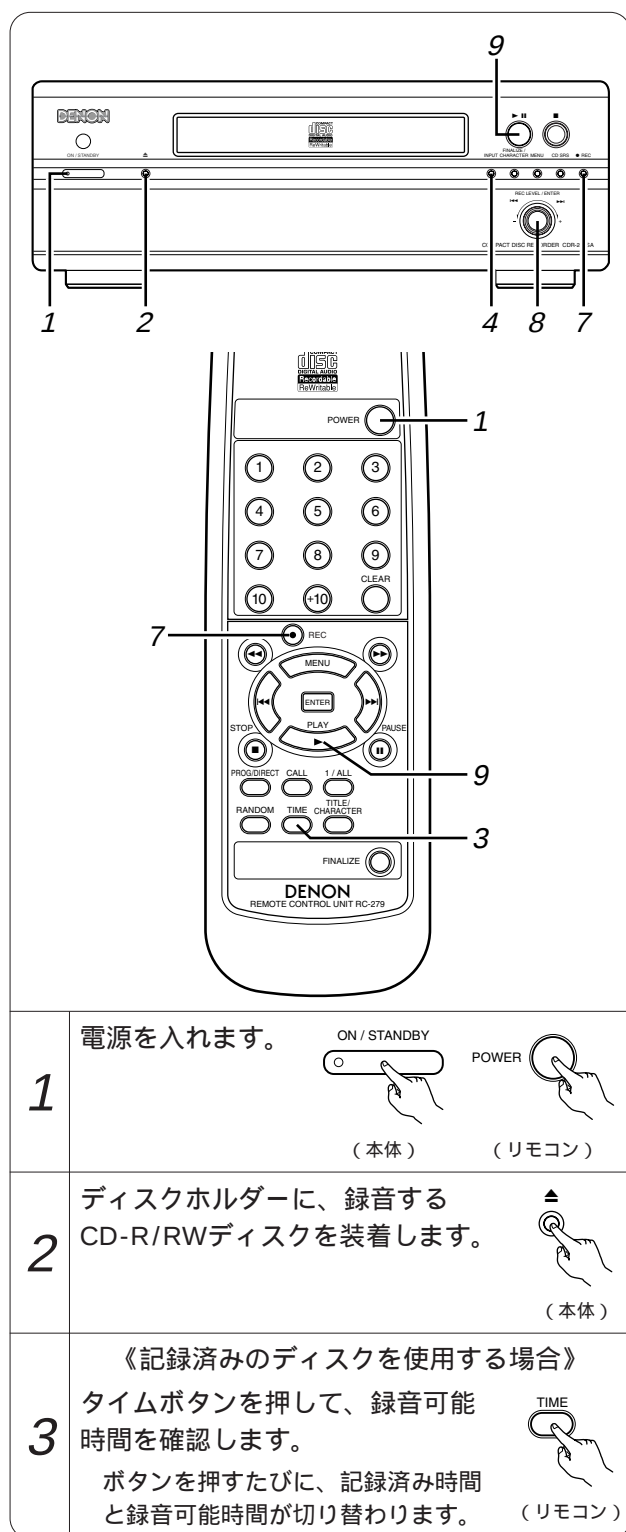
録音をおこなう前に21ページの『CD-R/RWの規格上の制約について』をよくお読みください。

最良の録音をおこなうために、ディスクの記録面には指紋・傷・ほこりが無いことを確かめてください。

録音のしかた(つづき)

(1) 録音のはじめかた(マニュアル録音)

1 アナログ入力録音をおこなうとき



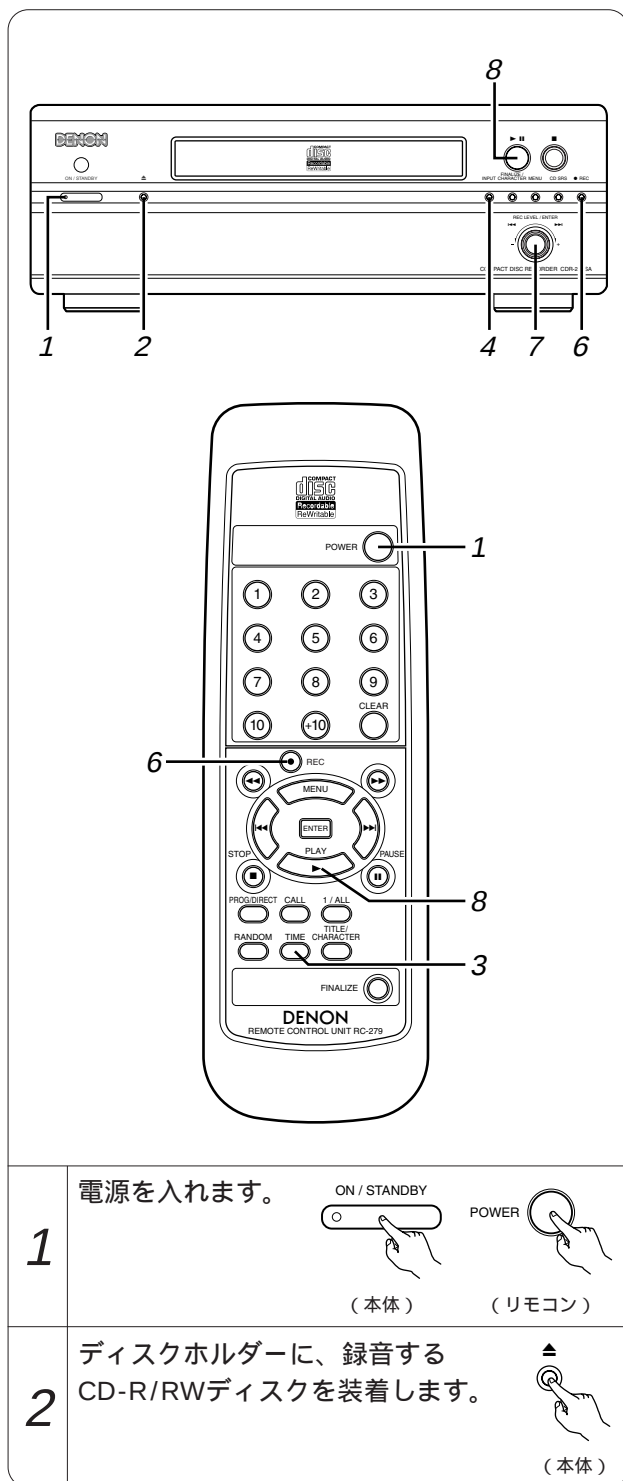
4	入力切り替えボタンを押して、アナログソースを選びます。 ・“ANA”表示が点灯します。 (本体)
5	25ページの『(3) アナログオートトラックマーキング(ATM)の設定』の操作をおこない、ATM機能のオン/オフを選びます。 ATM機能：オン “ATM”表示が点灯します。録音入力信号の無音部(約3秒以上)を感知すると、自動的に曲番を付けて記録します。 ATM機能：オフ 一続きの曲として記録されます。
6	CDプレーヤー、カセットデッキなどで、録音したい曲を再生します。
7	録音ボタンを押します。 ・録音一時停止状態になります。 (本体) (リモコン)
8	必要に応じてジョグダイヤルを回して、録音レベルを調整します。 レベルメーターが“OVER”表示まで点灯しないように調整してください。 DCD-201SAからCDを録音する場合、録音レベル『00』(初期設定)が標準位置です。 調整が終わったら、録音したい曲をスタンバイ状態にします。 設定された録音レベルは記憶されますが、2、3日間通電していない状態が続くと、データが消去される場合があります。 (本体)
9	本体のプレイ/ポーズボタンまたはリモコンのプレイボタンを押します。 ・録音をはじめます。 (本体) (リモコン)
10	CDプレーヤー、カセットデッキなどで、録音したい曲を再生します。

録音のしかた(つづき)

2 デジタル入力録音をおこなうとき

本機にはサンプリングコンバーターが搭載されています。

デジタル入力信号のサンプリング周波数がCD (44.1kHz) と異なるDATや衛星放送 (32kHz、48kHz) の場合は、自動的にサンプリング周波数を44.1kHzに変換して録音します。



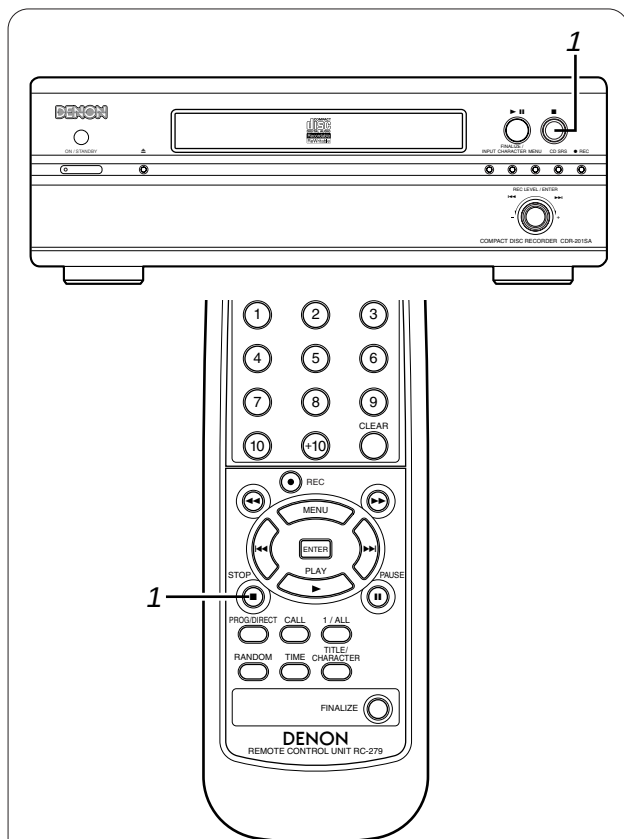
3	《記録済みのディスクを使用する場合》 タイムボタンを押して、録音可能時間を確認します。 ボタンを押すたびに、記録済み時間と録音可能時間が切り替わります。	(リモコン)
4	入力切り替えボタンを押して、『OPT1』または『OPT2』に切り替えます。 ・選択された入力ソースの“OPT1”または“OPT2”表示が点灯します。	(本体)
5	CDプレーヤー、MDレコーダーなどで、録音したい曲を再生します。	
6	録音ボタンを押します。 ・録音一時停止状態になります。 “OPT1”または“OPT2”表示が点滅しているときは、データが正常に入力されていないためです。このようなときは、デジタル入力端子の接続を確認してください。	(本体) (リモコン)
7	ジョグダイヤルを回して、録音レベルを調整します。 入力ソースと同じレベルで録音したいときは、録音レベルを『00』(初期値)に設定してください。 調整が終わったら、録音したい曲をスタンバイ状態にします。 設定された録音レベルは記憶されますが、2、3日間通電していない状態が続くと、データが消去される場合があります。	(本体)
8	本体のプレイ/ポーズボタンまたはリモコンのプレイボタンを押します。 ・録音をはじめます。	(本体) (リモコン)
9	CDプレーヤー、MDレコーダーなどで、録音したい曲を再生します。	

ご注意

- ・デジタル録音レベルを変えたくない場合は、“D. Level: 00dB”が表示されるようにジョグダイヤルで設定してください。入力信号レベルを変えずに録音します。
- ・録音レベルを調整できる範囲は、アナログ入力録音・デジタル入力録音共に - ∞ ~ +12dBです。なお、表示する設定値は計算処理上、多少誤差を含む場合があります。
- ・録音レベルが - ∞ のときは、“---dB”が表示され、音声は出力されません。

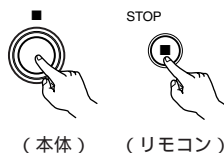
録音のしかた(つづき)

(2) 録音の止めかた



録音中にストップボタンを押します。

- 録音が停止します。



(本体) (リモコン)

また、ディスクに録音可能な時間がなくなると、自動的に停止します。

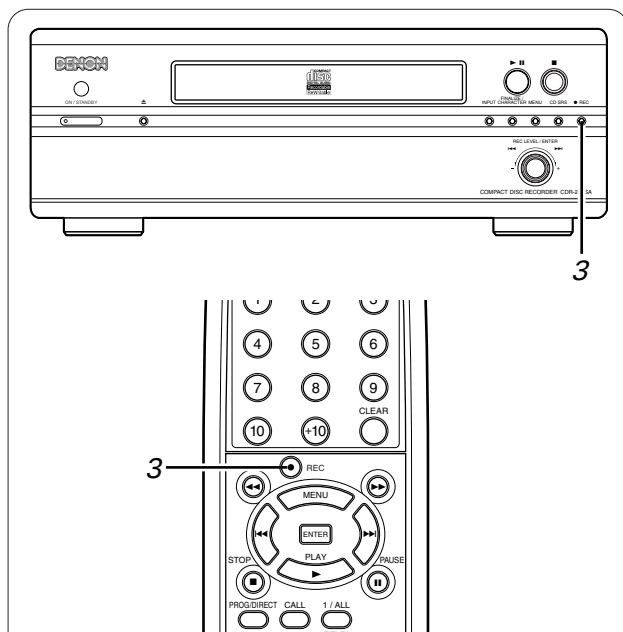
ご注意

- CDやMD、DATからのデジタル入力録音では、曲番も自動的に記憶されます。(18ページ参照)
- CDやMD以外のデジタル入力録音では、自動的に無音部を感知して曲番を付けて録音します。(18ページ参照) CDまたはMDからのデジタル入力録音で同じ曲を続けてプログラムしたり、1曲リピート再生をおこなった場合、曲番が切り替わらないことがあります。
- デジタル入力録音をおこなったディスクからさらにデジタル入力録音をおこなうことはできません。本機は、シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)に準拠しています。(シリアルコピーマネージメントシステムとは、各種デジタルオーディオ機器間でのデジタル信号どうしの複製を『1世代まで』と規制したものです。) デジタル入力録音をおこなったディスクを録音するときは、アナログ入力録音をしてください。(19ページ参照)
- 本機は一般家庭用として使用する製品ですので、業務用など一般家庭用としていない製品を組み合わせで使用する場合(録音するときなど)、正常に動作しないことがあります。
- デジタル入力録音をおこなっている途中で“Copy Prohibit”または“Dig. Unlock”表示になり、録音一時停止状態になったときにディスクを排出したい場合は、一度ストップボタン(■)を押してからディスク開閉ボタン(▲)を押してディスクを取り出してください。

録音のしかた(つづき)

(3) ディスクシンクロ録音

再生側のCDやMDに収録されているすべての曲を録音するときに使うモードです。



1

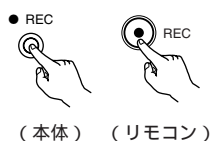
34ページの『録音のはじめかた』で、入力端子および録音レベルの設定をおこない、停止状態にします。

2

23ページの『(1)シンクロ録音モードの設定』で、ディスクシンクロモードを選びます。
・“ SYNC ”表示が点灯します。

3

録音ボタンを押します。
・録音一時停止状態になり、“Disc Synchro”が表示されます。



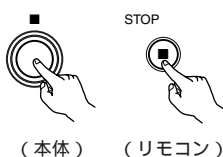
(本体) (リモコン)

4

CDプレーヤー、カセットデッキなどで、録音したい曲を再生します。
・自動的に録音をはじめます。

約10秒間無音が続くと、自動的に録音を停止します。

手動でシンクロ録音を止めるときは、ストップボタンを押してください。

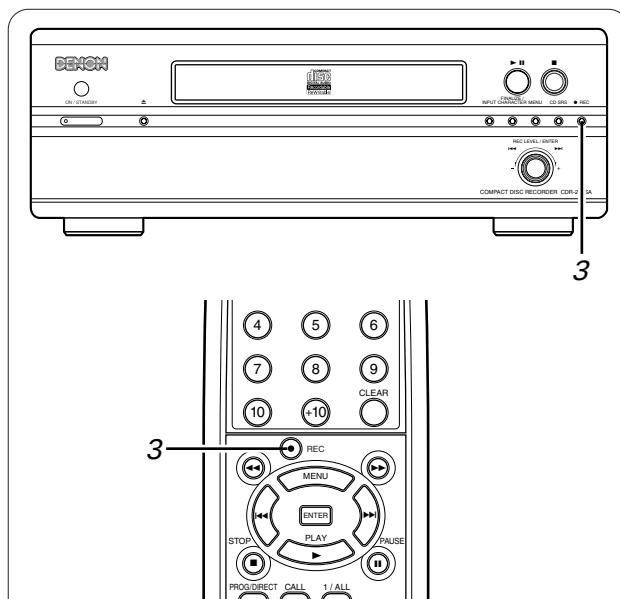


(本体) (リモコン)

アナログ入力録音の場合、24ページの『(2)アナログシンクロ録音レベルの設定』も合わせて参照してください。

(4) トラックシンクロ録音

1曲だけを録音するときに使うモードです。



1

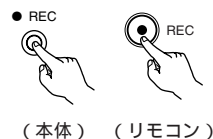
34ページの『録音のはじめかた』で、入力端子および録音レベルの設定をおこない、停止状態にします。

2

23ページの『(1)シンクロ録音モードの設定』で、トラックシンクロモードを選びます。
・“ 1TR SYNC ”表示が点灯します。

3

録音ボタンを押します。
・録音一時停止状態になり、“1Tr Synchro”が表示されます。



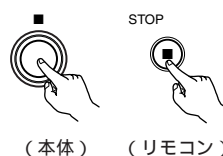
(本体) (リモコン)

4

CDプレーヤー、カセットデッキなどで、録音したい曲を再生します。
・自動的に録音をはじめます。

再生側の曲番が変わるか、約10秒間無音が続くと、自動的に録音を停止します。

手動でシンクロ録音を止めるときは、ストップボタンを押してください。



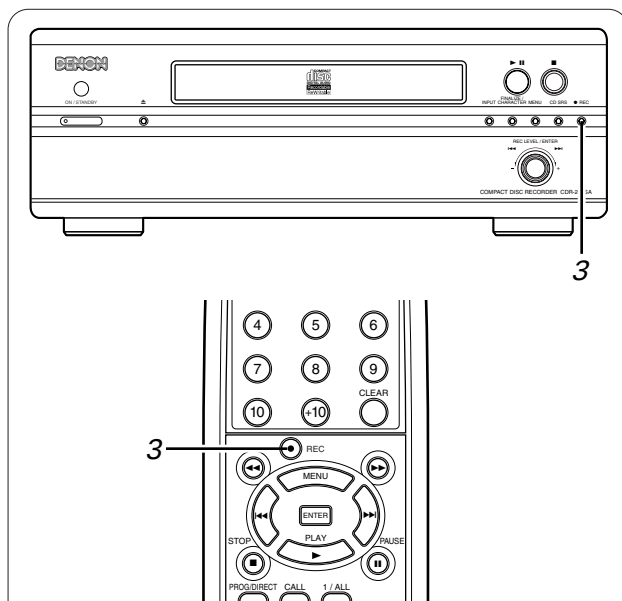
(本体) (リモコン)

アナログ入力録音の場合、24ページの『(2)アナログシンクロ録音レベルの設定』も合わせて参照してください。

録音のしかた(つづき)

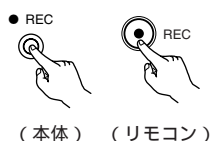
(5) 録音中に曲番を付けたいとき

録音中、録音モードに関わらず、曲番を付けることができます。



録音中に録音ボタンを押します。

- ボタンを押したところで曲番が変わります。



1

録音ボタンを押す。

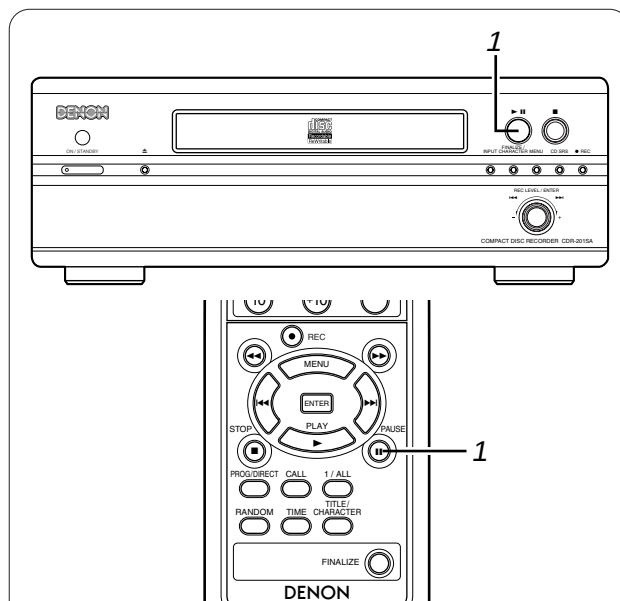


曲番を切り替えてから約4秒間は、曲番を切り替えることができません。

CDシンクロ録音中は、曲番を切り替えることができません。

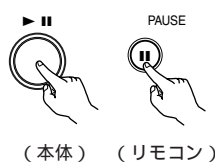
(6) 録音途中で一時的に止めておくとき

録音の途中で一時録音を止め、再びその位置から録音することができます。



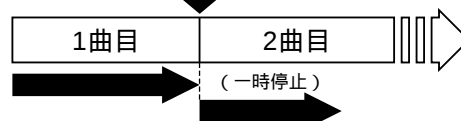
録音中に本体のプレイ/ポーズボタンまたはリモコンのポーズボタンを押します。

- ボタンを押したところで一時停止して、曲番が変わります。



1

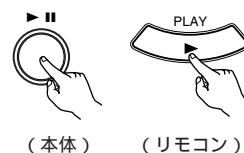
録音中に本体のプレイ/ポーズボタンまたはリモコンのポーズボタンを押す。
→録音を一時停止します。



録音一時停止中に本体のプレイ/ポーズボタンまたはリモコンのプレイボタンを押す。
→録音をはじめます。

続けて録音するときは、もう一度本体のプレイ/ポーズボタンまたはリモコンのプレイボタンを押してください。

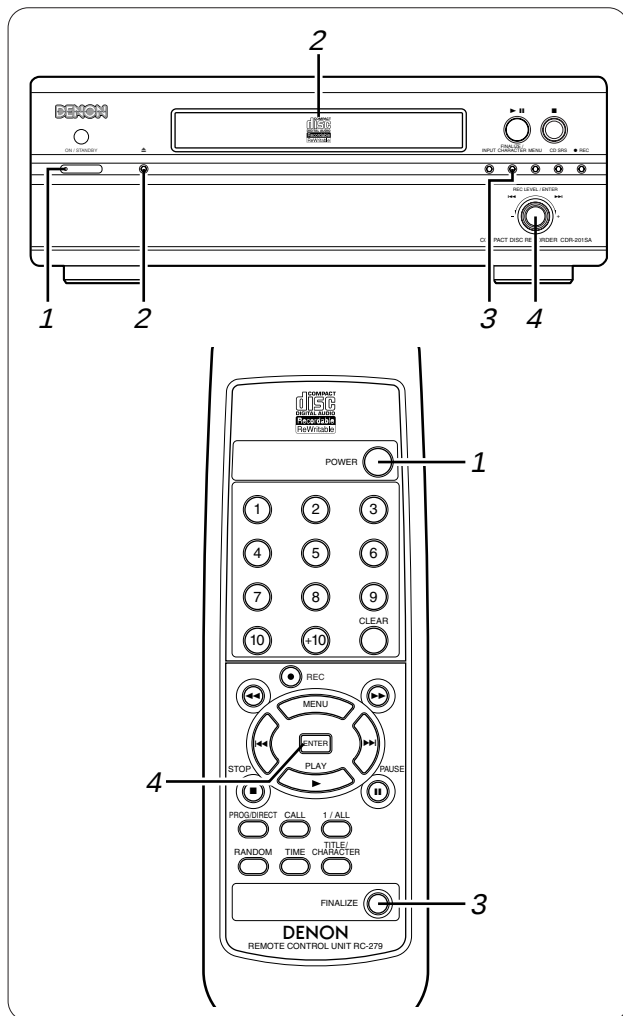
CDシンクロ録音中は、一時停止することができません。



16 ファイナライズについて

ファイナライズとは、録音を終了したCD-RディスクやCD-RWディスクを一般のCDプレーヤー（CD-Rディスクのみ）やCD-RWディスク対応のCDプレーヤーで再生できるようにする処理です。この処理中は、CDの再生に必要なTOC（収録内容の目次情報）をディスクに書き込んでいます。ファイナライズすると、追加の録音ができなくなり、大切な録音内容を保護します。CD-RWディスクでは録音済みの内容を消去できなくします。

ファイナライズのしかた



1	電源を入れます。 ON / STANDBY POWER (本体) (リモコン)
2	ディスクホルダーに、ファイナライズしたいCD-R/RWディスクを装着します。 (本体)
3	停止中にファイナライズボタンを押します。 FINALIZE / CHARACTER FINALIZE ・“Finalize OK?”が表示されます。 (本体) (リモコン)
4	エンターボタンを押します。 REC LEVEL / ENTER ・ファイナライズ処理の残り時間が表示されます。 ・ファイナライズが完了すると、録音総曲数と録音総時間が表示されます。 ・ディスプレイのディスクの種類表示が“CD”になります。 (本体) (リモコン)
CD-RWディスクのファイナライズの取り消しについては、40ページの『CD-RWディスクのアンファイナライズ（ファイナライズの取り消し）のしかた』を参照してください。	

ご注意

- ・正確にファイナライズをおこなうために、ディスクの記録面には指紋・傷・ほこりなどが無いことをご確認ください。
- ・ファイナライズにかかる時間は、約2～4分です。
- ・ファイナライズ中は、すべての操作を受け付けません。
- ・ファイナライズしたCD-RWディスクは、CD-RWディスク対応に設計されたCDプレーヤーや他のCDレコーダーでしか再生できません。
- ・テキストデータは、ファイナライズ時にディスクに書き込まれます。テキストを入力したい場合は、ファイナライズの前にこなってください。

17 編集のしかた

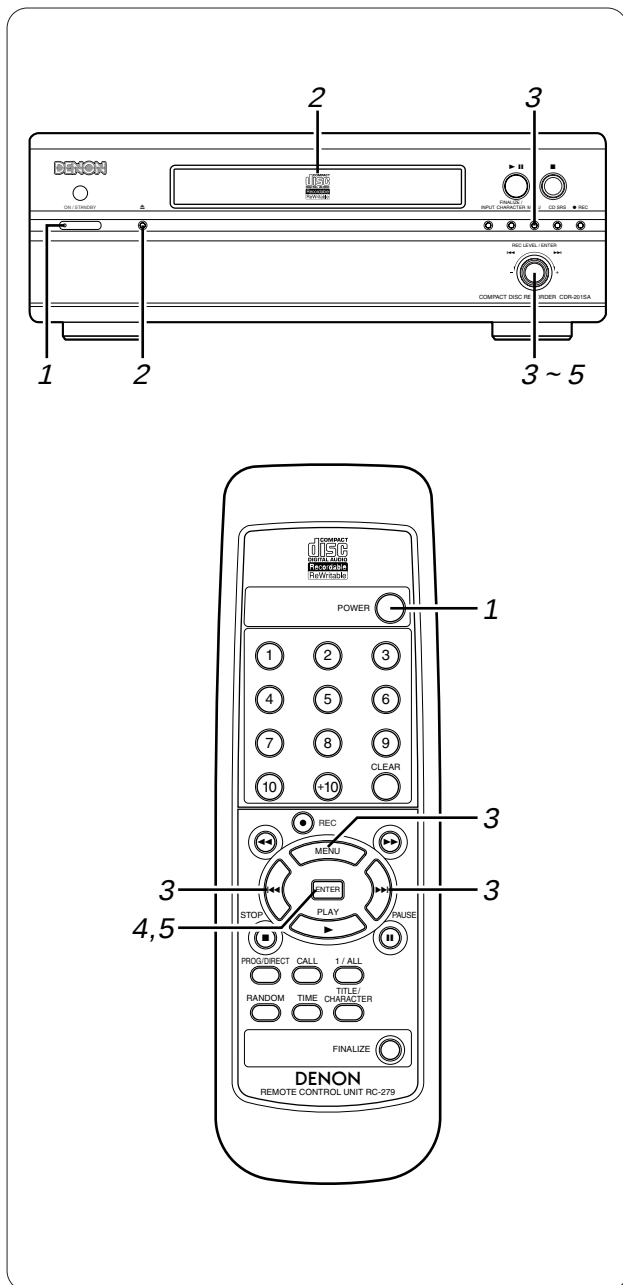
(1) CD-R/RWの編集

1 CD-RWディスクのアンファイナライズ（ファイナライズの取り消し）のしかた

この操作はCD-RWディスクのみに有効です。

CD-Rディスクではファイナライズを取り消すことはできません。

ファイナライズ済みのCD-RWディスクに追加録音するときや、録音してある曲を消去するとき、この操作でファイナライズを取り消してください。

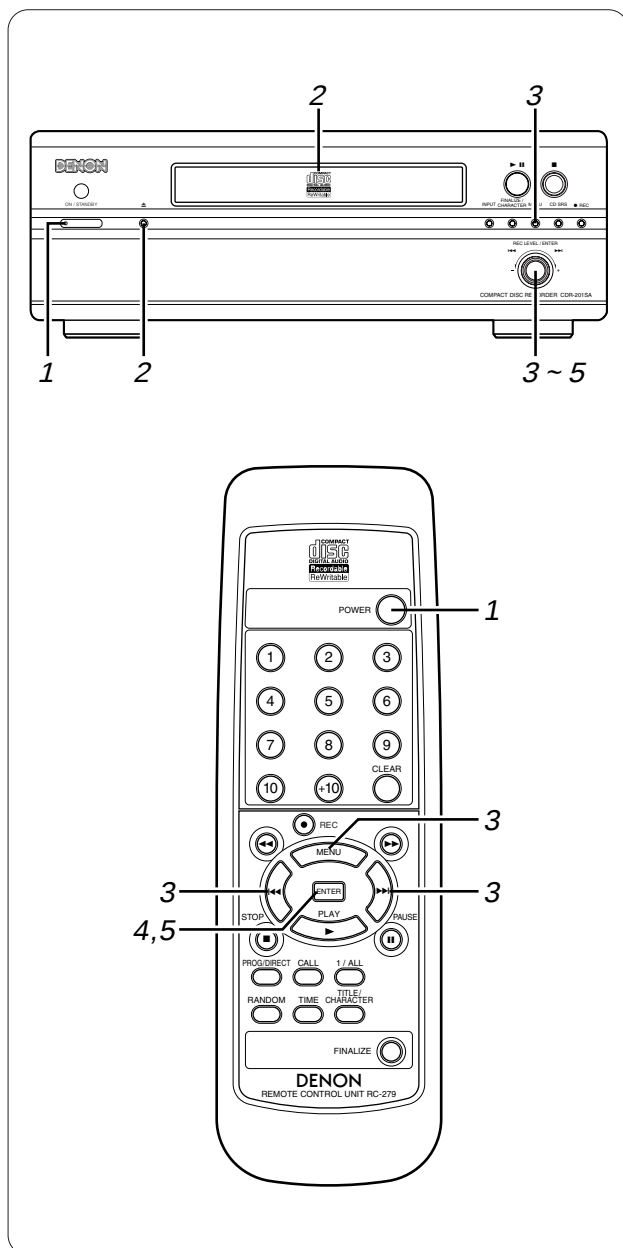


1	電源を入れます。 ON / STANDBY POWER (本体) (リモコン)
2	ディスクホルダーに、ファイナライズを取り消したいCD-RWディスクを装着します。 (本体)
3	メニューボタンを押し、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、アンファイナライズモードを選びます。 ・“Unfinalize?”が表示されます。 MENU (本体) (リモコン)
4	エンターボタンを押します。 ・“TOC Er. OK?”が表示されます。 REC LEVEL / ENTER (本体) (リモコン)
5	さらにエンターボタンを押します。 ・アンファイナライズ処理の残り時間が表示されます。 ・アンファイナライズが完了すると、ディスクの種類表示が“CD-RW”になります。 REC LEVEL / ENTER (本体) (リモコン)

編集のしかた(つづき)

2 すべての曲の消去(全曲消去)のしかた

この操作はCD-RWディスクのみに有効です。
CD-Rディスクでは全曲消去はできません。
全曲消去にかかる時間は、約1~2分です。



1	電源を入れます。 ON / STANDBY POWER (本体) (リモコン)
2	ディスクホルダーに、消去したいCD-RWディスクを装着します。 (本体)
3	メニューボタンを押し、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、全曲消去モードを選びます。 • "All Erase?" が表示されます。 MENU (本体) (リモコン)
4	エンターボタンを押します。 • "All Erase OK?" が表示されます。 REC LEVEL / ENTER (本体) (リモコン)
5	さらにエンターボタンを押します。 • "All Erasing" が点滅表示されます。 • 消去が完了すると、"Blank Disc" 表示になります。 REC LEVEL / ENTER (本体) (リモコン)

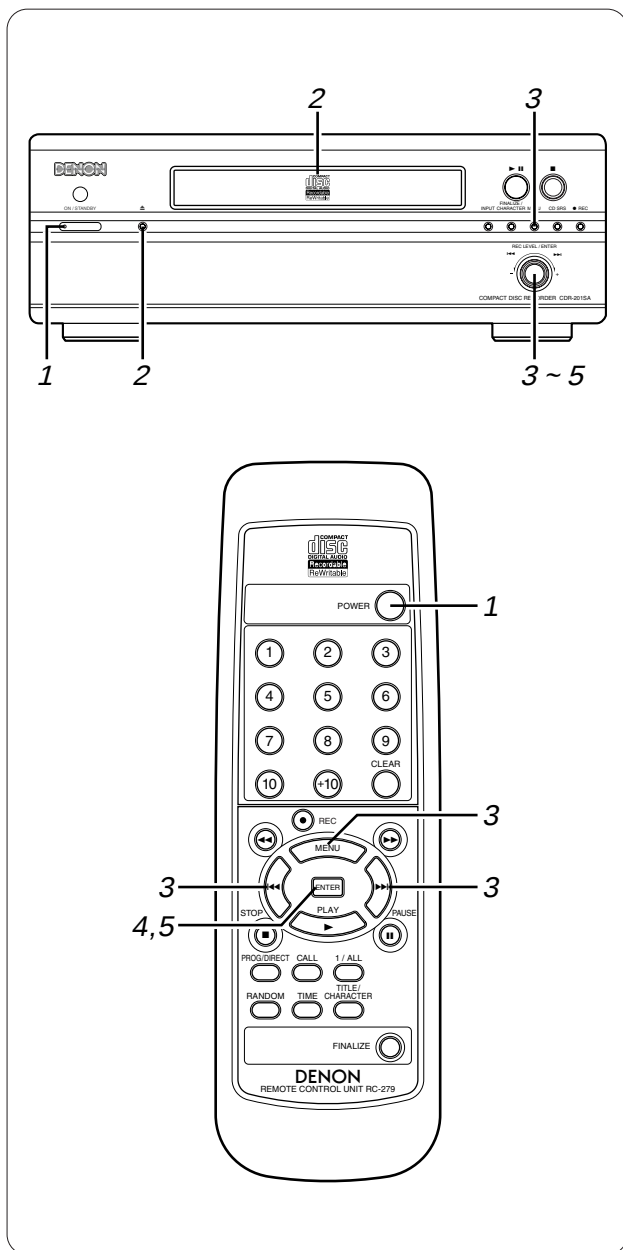
編集のしかた(つづき)

3 最後の曲の消去のしかた(1曲消去)

ファイナライズされているCD-RWディスクを消去するときは、先にアンファイナライズをおこなってください。

この操作はCD-RWディスクのみに有効です。

CD-Rディスクでは1曲消去はできません。



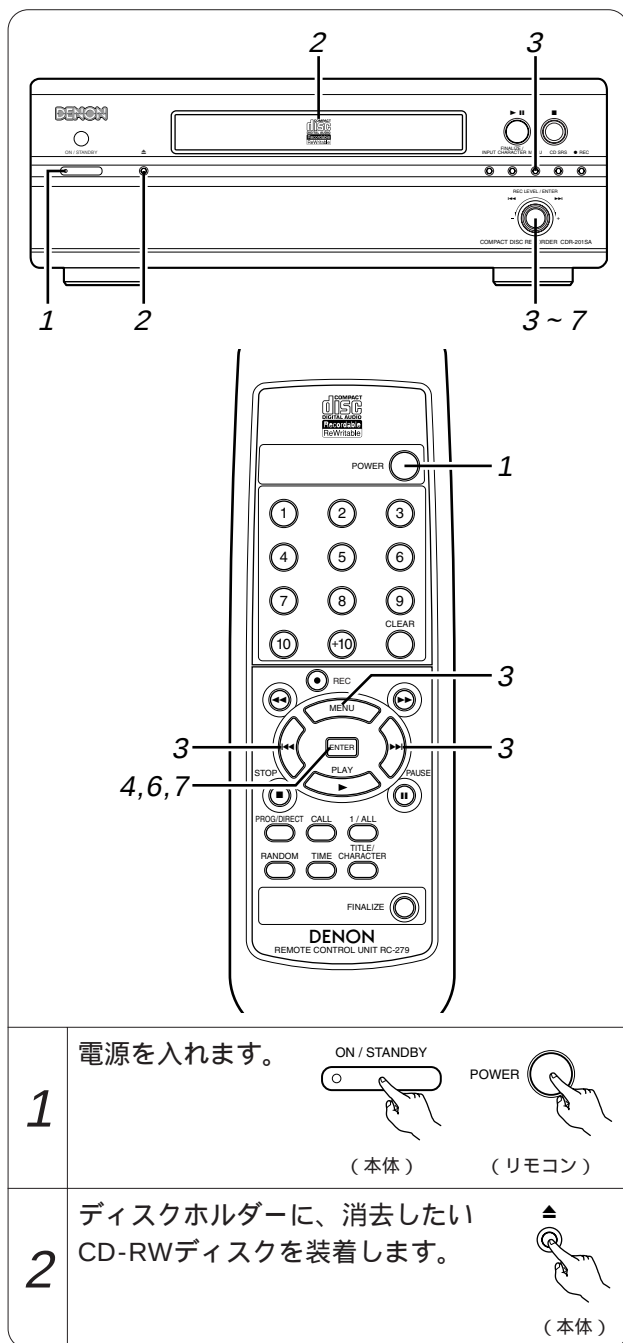
1	電源を入れます。 (本体) (リモコン)
2	ディスクホルダーに、消去したいCD-RWディスクを装着します。 (本体)
3	メニューボタンを押し、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、1曲消去モードを選びます。 ・“Last Tr Erase?”が表示されます。 (本体) (リモコン) (本体) (リモコン)
4	エンターボタンを押します。 ・“Tr Erase OK?”が表示されます。 (本体) (リモコン)
5	さらにエンターボタンを押します。 ・“Last Erasing”が点滅表示されます。 ・消去が完了すると、消去後の曲数が表示されます。 (本体) (リモコン)

編集のしかた(つづき)

4 指定した曲から最後の曲までの消去のしかた(マルチトラック消去)

ファイナライズされているCD-RWディスクを消去するときは、先にアンファイナライズをおこなってください。

この操作はCD-RWディスクのみに有効です。CD-Rディスクではマルチトラック消去はできません。



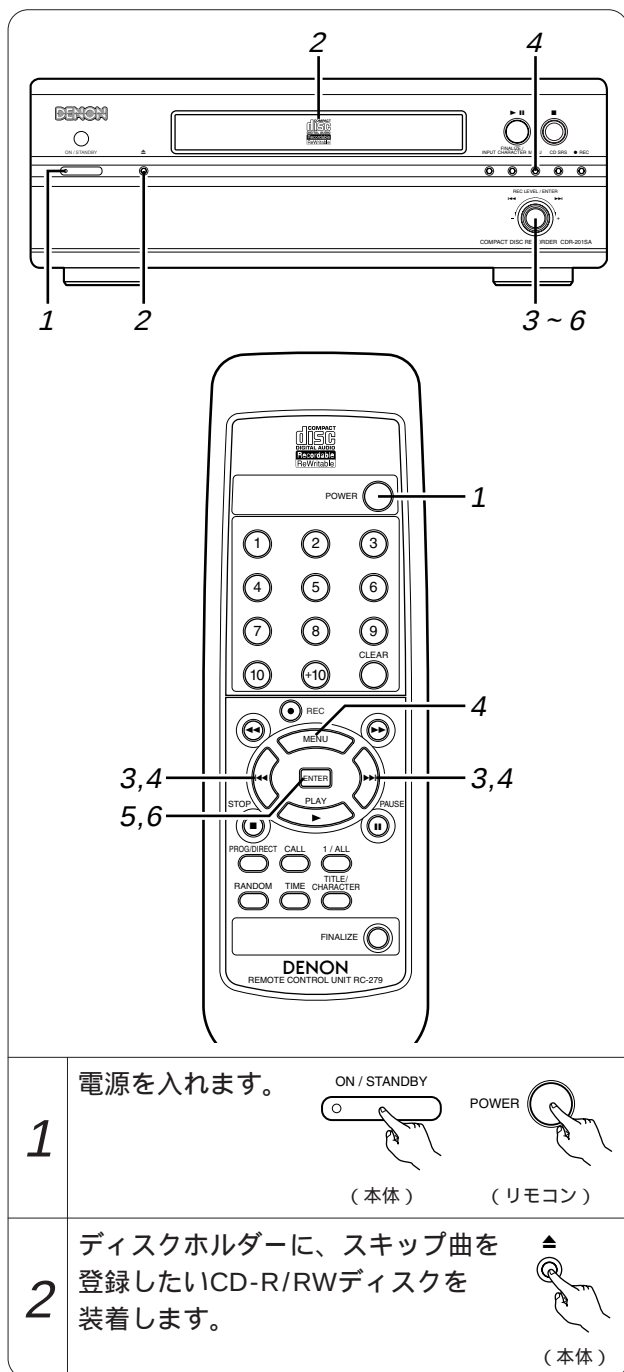
3	メニューボタンを押し、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、マルチトラック消去モードを選びます。 • “MultiTrErase?” が表示されます。 (本体) (リモコン)
4	エンターボタンを押します。 • “**TrErase?” が表示されます。 (本体) (リモコン)
5	ジョグダイヤルを左(Ω)に回して、消去を開始したい曲番を選びます。 (本体)
6	エンターボタンを押します。 • “MultiErase OK?” が表示されます。 (本体) (リモコン)
7	さらにエンターボタンを押します。 • “MultiErasing” が点滅表示されます。 • 消去が完了すると、消去後の曲数が表示されます。 (本体) (リモコン)

編集のしかた(つづき)

5 スキップ曲を登録する

録音を失敗した曲などを通常再生で飛ばして再生するために、スキップ曲をディスクに登録することができます。

ファイナライズ済みディスクにスキップ曲を登録することはできません。



- 3 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、スキップ登録したい曲を選びます。

(本体) (リモコン)
- 4 メニューボタンを押し、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、スキップ曲登録モードを選びます。
 ・“Skip Set?”が表示されます。

(本体) (リモコン)
- 5 エンターボタンを押します。
 ・“Skip Set OK?”が表示されます。

(本体) (リモコン)
- 6 さらにエンターボタンを押します。
 ・“Now PMA Rec”が表示され、登録が完了します。

(本体) (リモコン)

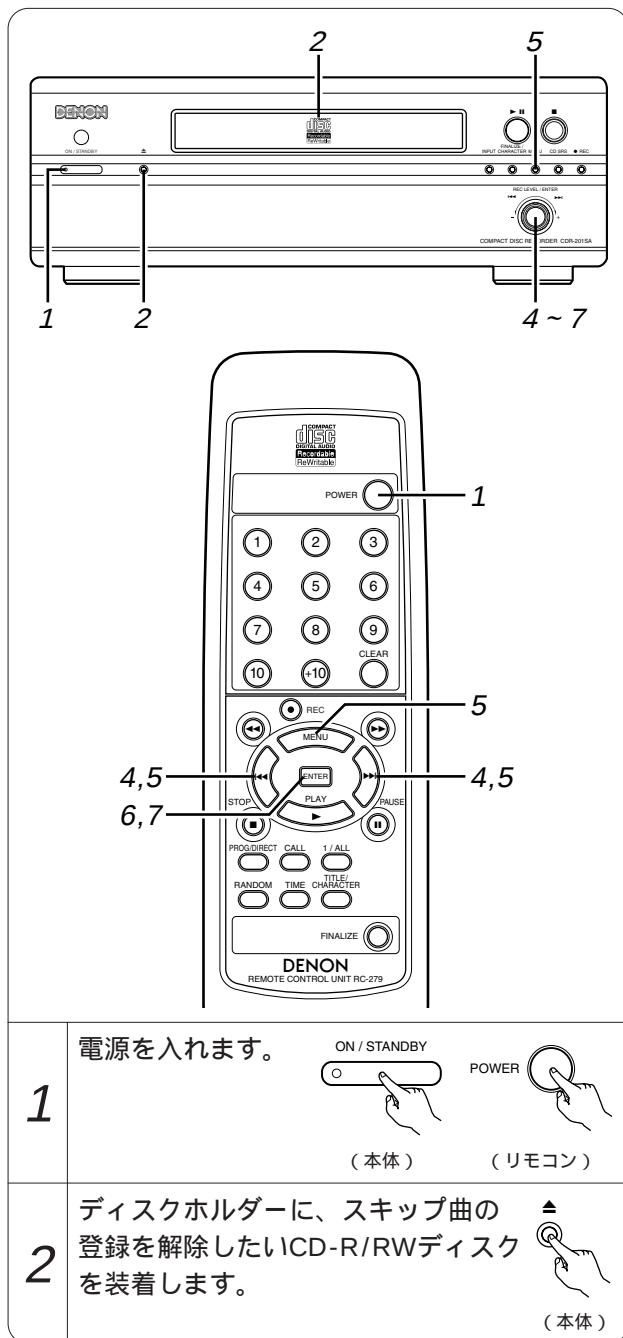
ご注意

スキップ機能のないCDプレーヤーでスキップ再生することはできません。

編集のしかた(つづき)

6 スキップ曲の登録を解除する

ファイナライズ済みディスクのスキップ曲の登録を解除することはできません。

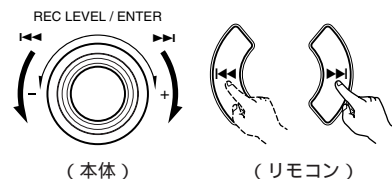


3

26ページの『(4) スキップ再生モードの設定』の操作をおこない、スキップ再生をオフに設定します。

4

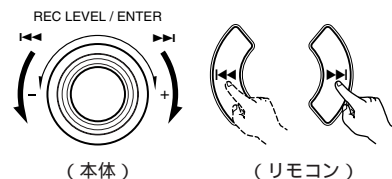
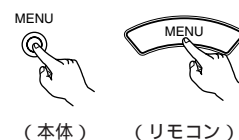
本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、スキップ曲の登録を解除したい曲を選びます。



5

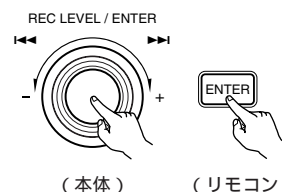
メニューボタンを押し、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、スキップ曲設定解除モードを選びます。

・“Skip Clear?” が表示されます。



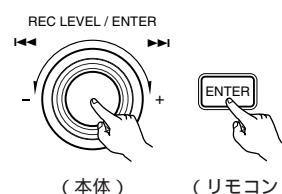
6

エンターボタンを押します。
・“Skip Clear OK?” が表示されます。



7

さらにエンターボタンを押します。
・“Now PMA Rec” が表示され、登録が完了します。



編集のしかた(つづき)

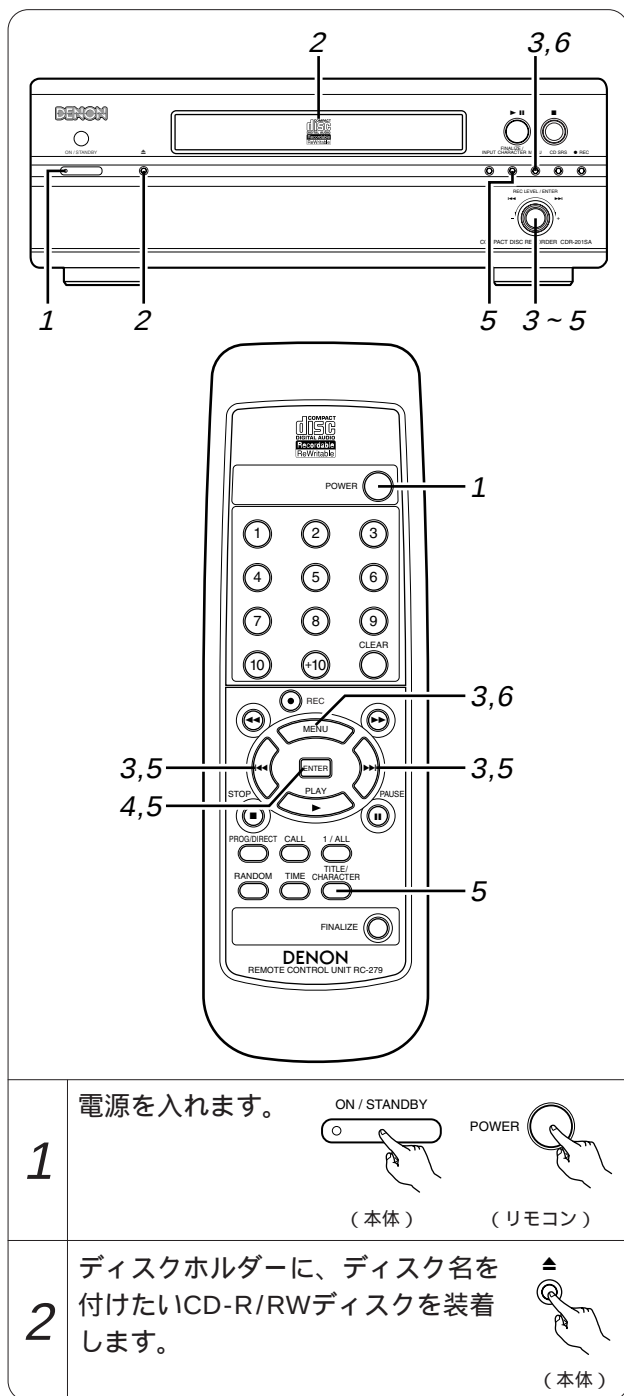
(2) テキストを入力する

ファイナライズしていないCD-R/RWディスクに対し英大文字、英小文字、数字、特殊文字で曲名とディスク名を入力することができます。

曲名やディスク名は、それぞれ23文字、合計で900文字まで入力することができます。

入力されたテキスト情報は、ファイナライズをおこなうまでディスクに書き込まれません。従って、ファイナライズをおこなう前にテキスト入力することをおすすめします。

1 ディスク名を付けるには



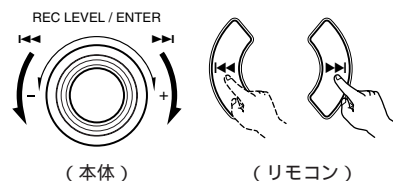
3

メニューボタンを押し、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、ディスク名入力モードを選びます。

・“Disc Name In?”が表示されます。



(本体) (リモコン)

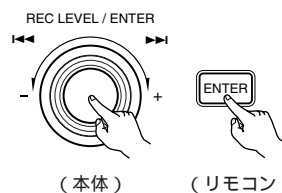


(本体) (リモコン)

4

エンターボタンを押します。

・タイトル入力待ちを表わすカーソルが点滅します。

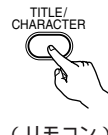


(本体) (リモコン)

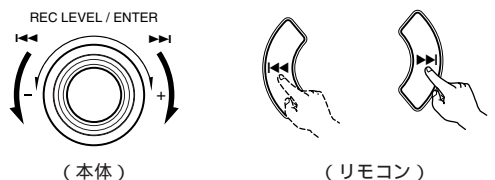


5

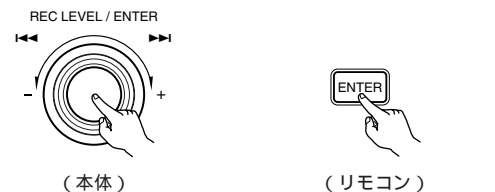
タイトル/キャラクターボタンで入力文字の種類を選び、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押してタイトル文字を選び、エンターボタンで1文字ずつ入力します。



(リモコン)



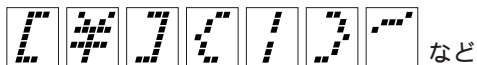
(本体) (リモコン)



(本体) (リモコン)

編集のしかた(つづき)

- 本機で入力できても、他の機種では表示されない特殊文字がありますので、ご注意ください。

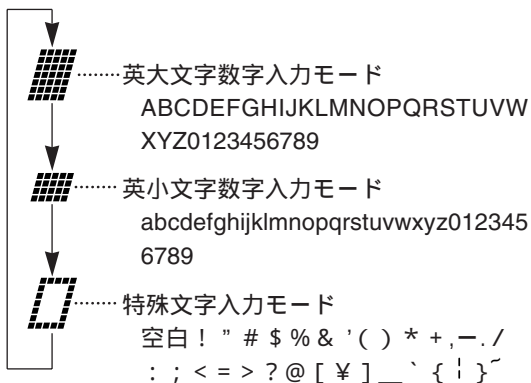


タイトル/キャラクターボタンを押すたびに、カーソルの形が変わり、入力モードが切り替わります。



〔カーソルの説明と表示できる文字・記号〕

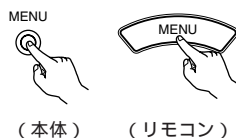
5
つづき



- ▶▶ ボタンまたはエンターボタンを押すと、選択された文字を確定してカーソルが次の文字に移り、次の文字の入力待ち状態となります。
- ◀◀ ボタンを押すと、カーソルを戻すことができます。入力文字を修正するときに使用します。

6

メニューボタンを押して、入力したディスク名を確定します。



文字を消去するときは、消したい文字にカーソルを合わせてからクリアーボタンを押してください。



文字を修正するときは、修正したい文字を消去してからもう一度文字を入力してください。

(リモコン)

編集のしかた(つづき)

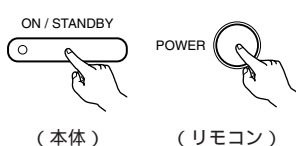
2 曲名を付けるには

The diagram shows the Denon CD player and its remote control. Callouts indicate the following steps:

- 1**: Power button on the remote.
- 2**: Disc tray on the player.
- 3, 4**: Jog dial on the remote.
- 3, 4**: Menu button on the remote.
- 5**: Enter button on the remote.
- 4, 7**: Menu button on the player.
- 4, 7**: Jog dial on the player.

1

電源を入れます。



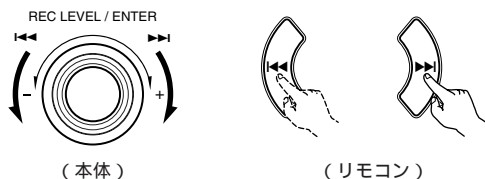
2

ディスクホルダーに、曲名を付けた CD-R/RW ディスクを装着します。



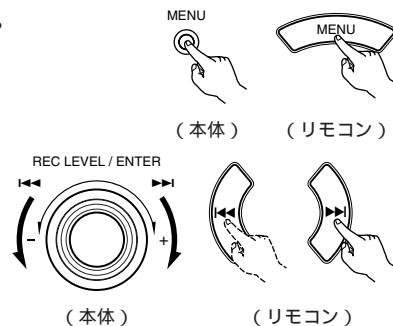
3

本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、曲名を付けたい曲を選びます。



4

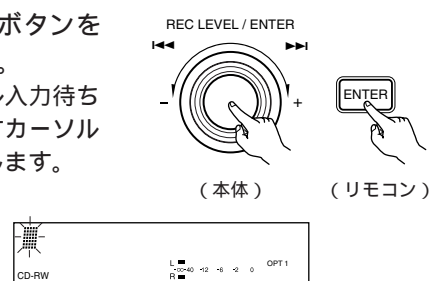
メニューボタンを押し、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、“Tr Name In?” を表示させます。



5

エンターボタンを押します。

・タイトル入力待ちを表わすカーソルが点滅します。



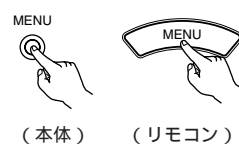
6

タイトルを入力します。

タイトルの入力のしかたは、『ディスク名を付けるには』(46ページ)の操作5を参照してください。

7

メニューボタンを押して、入力した曲名を確認します。

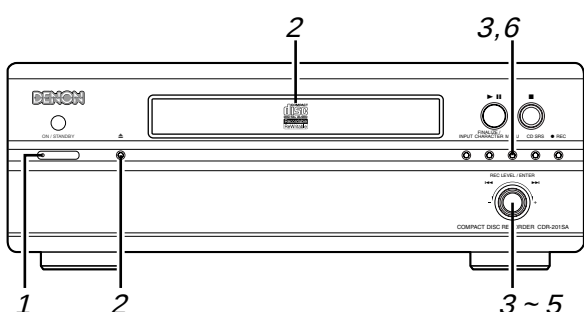
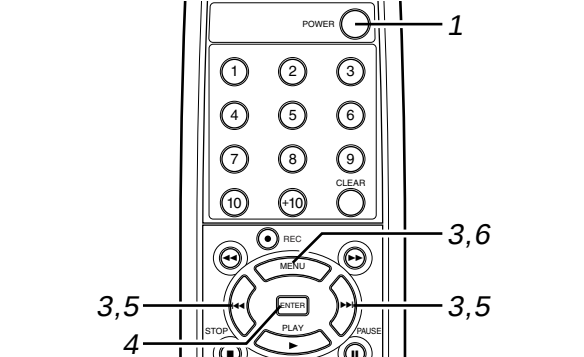


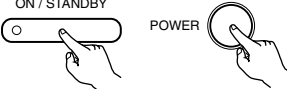
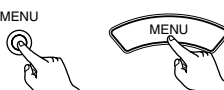
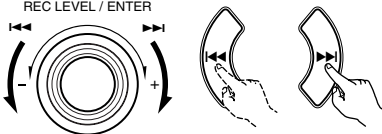
ご注意

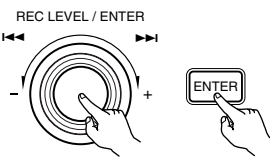
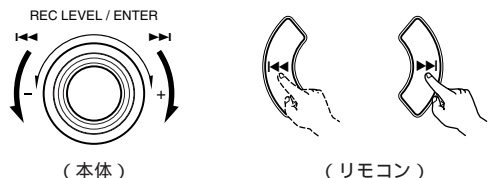
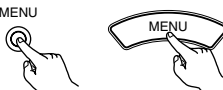
- ・1つのテキストには、最大23文字まで入力することができます。1枚のディスクに合計900文字まで入力することができます。
- ・市販のCDやファイナライズしてあるCD-R/RW ディスクには、テキスト編集はできません。
- ・入力されたテキスト情報は、ファイナライズをおこなうまでディスクには書き込まれません。
- ・テキスト情報を入力し、ファイナライズをおこなっていない状態で電源を切っても、2、3日間はテキスト情報を記憶しています。長い時間電源を切った状態が続くと、テキスト情報が消去される場合があります。

編集のしかた(つづき)

3 プリセットネームイン機能を使ってディスク名を付けるには

1	電源を入れます。  (本体) (リモコン)
2	ディスクホルダーに、ディスク名を付けたいCD-R/RWディスクを装着します。  (本体)
3	メニューボタンを押し、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、“Preset N. In?”を表示させます。  (本体) (リモコン)  (本体) (リモコン)

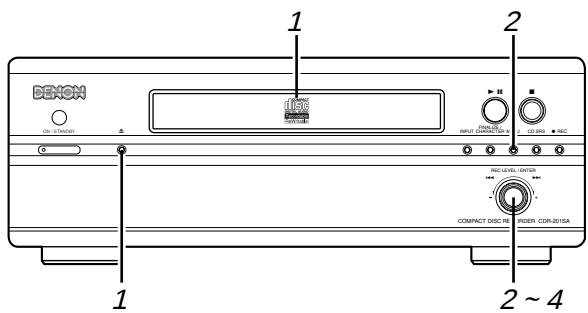
4	エンターボタンを押します。 最初のプリセットディスク名が表示され、入力待ちを表わすカーソルが点滅します。  (本体) (リモコン) 
5	本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、プリセットディスク名を選びます。  (本体) (リモコン) 〔プリセットディスク名〕 My Favorite, Best Hit, Hit Chart, Hit Songs, Master Disc, Love Songs, Drive Music, Live, Concert, Air Check, Rock, Pops, Classic, Jazz, Vocal, BGM, Instrumental, Rap, R&B, Reggae, Techno, Fusion, Hard Rock, Heavy Metal, Girls Pop, Country, Screen Music, Dance Music, (@_@), (*_*) 自分で新たなディスク名を本機に登録することはできません。 選択したプリセットディスク名を使ってディスク名を編集したい場合には、一度プリセットディスク名を確定した後、46ページの『ディスク名を付けるには』に従って編集をおこなってください。
6	メニューボタンを押し、選択したディスク名を確定します。  (本体) (リモコン)

編集のしかた(つづき)

(3) テキストを消去する

曲名やディスク名を消去することができます。

1 ディスク名を消去するには



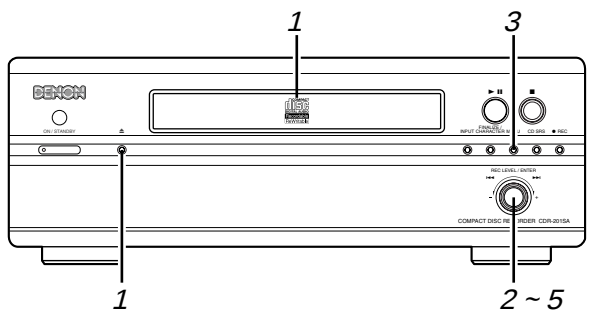
1 ディスクホルダーに、ディスク名を消去したいCD-R/RWディスクを装着します。

2 メニューボタンを押し、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、ディスク名消去モードを選びます。
・“Disc N. Erase?”が表示されます。

3 エンターボタンを押します。
・“Name Erase OK?”が表示されます。

4 さらにエンターボタンを押して、ディスク名の消去を確定します。
・“Complete”が表示されます。

2 曲名を消去するには



1 ディスクホルダーに、曲名を消去したいCD-R/RWディスクを装着します。

2 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、曲名を消去したい曲を選びます。
・曲名がスクロールします。

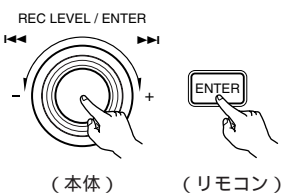
3 メニューボタンを押し、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、“Track Name Erase?”を表示させます。

4 エンターボタンを押します。
・“Name Erase OK?”が表示されます。

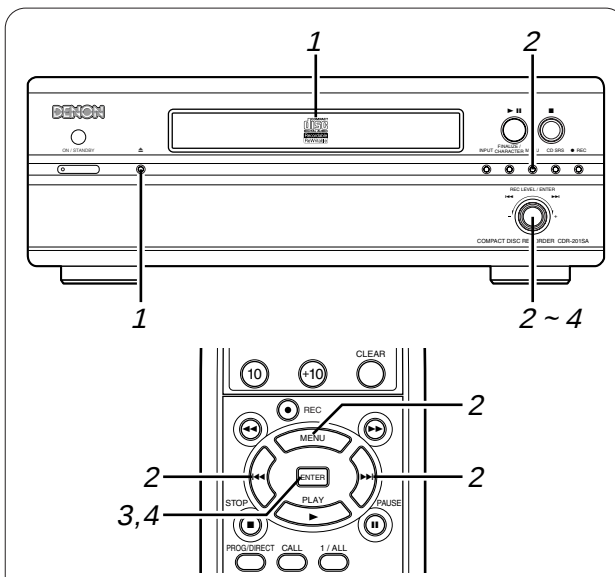
編集のしかた(つづき)

5

さらにエンターボタンを押して、曲名の消去を確定します。
•“Complete”が表示されます。



3 すべての曲名およびディスク名を消去するには



1

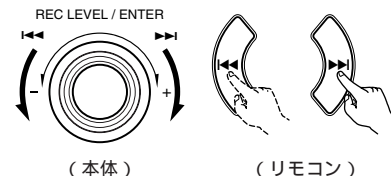
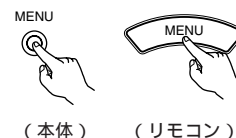
ディスクホルダーに、すべての曲名およびディスク名を消去したいCD-R/RWディスクを装着します。



2

メニューボタンを押し、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、テキスト消去モードを選びます。

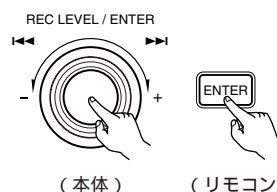
•“All N.Erase?”が表示されます。



3

エンターボタンを押します。

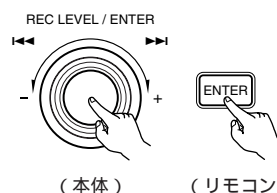
•“Name Erase OK?”が表示されます。



4

さらにエンターボタンを押して、消去を確定します。

•“Complete”が表示されます。



ご注意

市販のCDやファイナライズしてあるCD-R/RWディスクでは、テキストの消去はできません。

18 システム機能について

(1) システム接続について

本機をPRESTA-201SAシリーズとシステム接続をすると、便利なシステム機能が働きます。

(接続のしかたは、プリメインアンプ (PMA-201SA) またはレシーバー (DRA-201SA) の取扱説明書を参照してください。)

各機器を操作するシステム機能の信号は、すべてプリメインアンプ (PMA-201SA) またはレシーバー (DRA-201SA) から出力されます。

従って、システム接続するときは必ずプリメインアンプ (PMA-201SA) またはレシーバー (DRA-201SA) を接続してください。

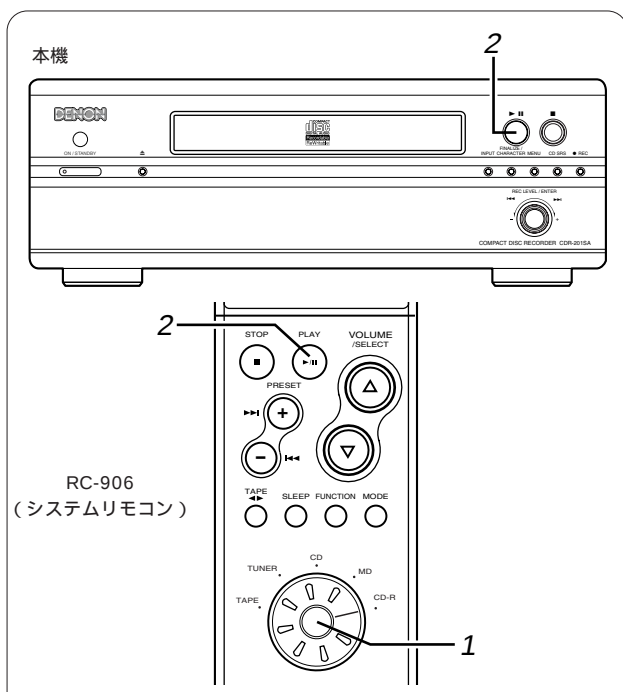
システム機能が働くのは、PRESTA-201SAシリーズの機器を接続したときのみです。

それ以外の機器を接続してもシステム機能は働きません。

(2) オートパワーオン機能

(PRESTA-201SAシリーズシステム接続時)

システム全体がスタンバイ状態のときに、本機またはリモコンのプレイ/ポーズボタン (▶/⏸) を押すだけで、ディスクの再生をおこなうことができます。



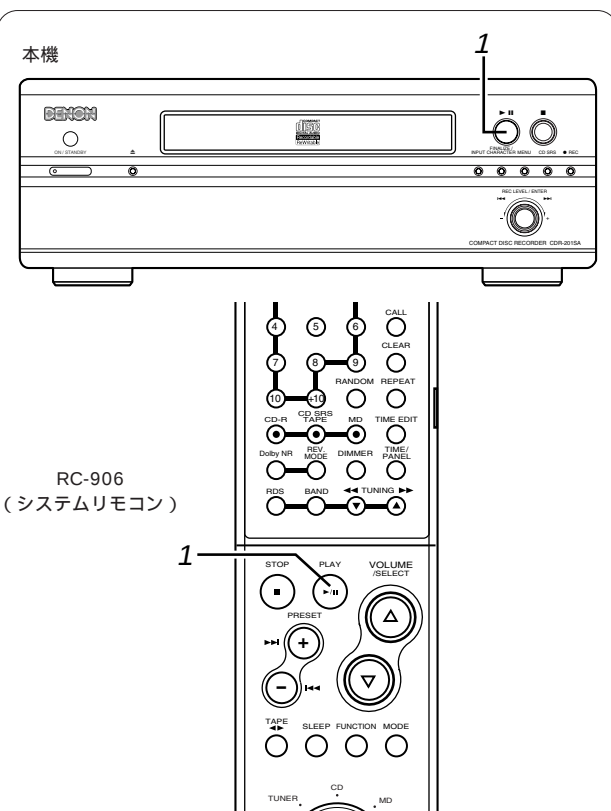
1 リモコンファンクション切り替えスイッチを『CD-R』に合わせます。

2 プレイ/ポーズボタンを押します。
・システムの電源が入り、プリメインアンプのファンクションが自動的に『CD-R』に切り替わります。
その後、ディスクが装着されている場合は、ディスクの再生をはじめます。

(3) オートファンクション機能

(PRESTA-201SAシリーズシステム接続時)

ボタン1つの操作でファンクションを『CD-R』に切り替えて、ディスクの再生をおこなうことができます。



本機以外の機器 (CDプレーヤー、MDレコーダー、カセットデッキ) の再生中にプレイ/ポーズボタンを押します。

・再生中の機器の再生が停止します。
同時にプリメインアンプのファンクションが『CD-R』に切り替わり、ディスクの再生をはじめます。

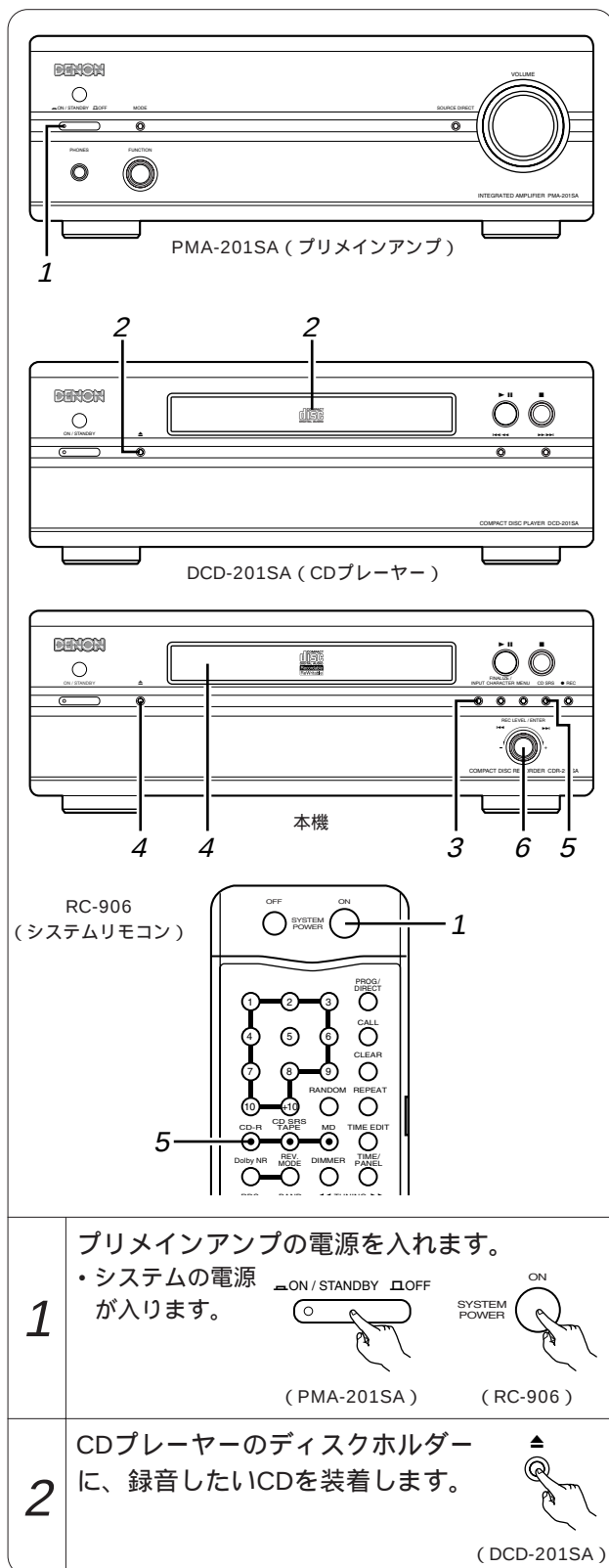
システムリモコンで操作する場合は、リモコンファンクション切り替えスイッチを回して、ファンクションを『CD-R』にしてからおこなってください。

システム機能について(つづき)

(4) CDシンクロ録音機能 (PMA-201SA, DCD-201SA, 本機接続時)

CDを簡単に録音することができます。

CDプレーヤー (DCD-201SA) のデジタル出力を本機のデジタル入力1に接続し、デジタル録音します。アナログ入力を選択して、アナログ録音することもできます。



- 3 本機の入力切り替えボタンを押して『Opt-1』に切り替えます。
アナログ録音のときは、『ANA』に切り替えます。
(本機)
- 4 本機のディスクホルダーに、録音するCD-R/RWディスクを装着します。
(本機)
- 5 本機のCDシンクロ録音ボタンを押して、シンクロ録音モードを選びます。
ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。

SRS1disc Rec?: 1枚のCDをすべて録音します。

SRS Make CD?: 1枚のCDをすべて録音し自動的にファイナライズをおこないます。

SRS1stTr Rec?: CDの最初の1曲のみを録音します。
- 6 本機のエンターボタンを押します。
・自動的にCDの録音をはじめます。
CDに収録されているすべての曲の再生が終わったとき、およびCDの再生が終わらないうちにディスク一杯に録音されたとき、本機とCDプレーヤーは自動的に停止します。
(本体)
- 途中で録音を止めるときは、本機のストップボタンを押して、CDの再生を停止させてください。
SRS Make CDモードで録音をはじめ、途中CDプレーヤーのストップボタンで録音を止めた場合、録音されたところまでファイナライズをおこないます。
(本機) (RC-906)

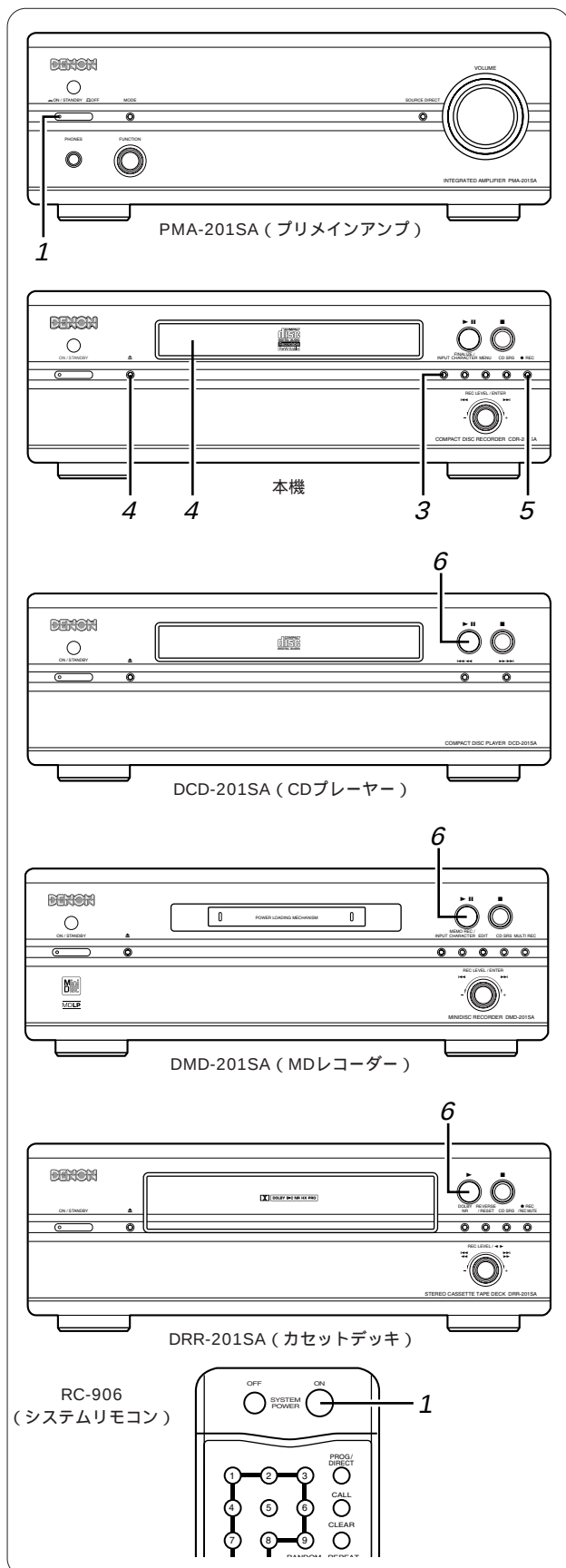
ご注意

CDプレーヤーがプログラム再生モードのときは動作しません。プログラムを解除してください。また、ランダム再生モード、リピート再生モードのときは、それぞれのモードを解除して動作します。

システム機能について(つづき)

(5) 同期録音機能 (PMA-201SA, DMD-201SA, DCD-201SA, 本機, DRR-201SA接続時)

本機を録音一時停止状態にして、CDプレーヤーまたはMDレコーダーのプレイ/ポーズボタン (▶/||) またはカセットデッキのプレイボタン (▶) を押すと、自動的に録音をはじめます。



- 1 プリメインアンプの電源を入れます。
・システムの電源が入ります。

(PMA-201SA) (RC-906)
 - 2 CDプレーヤー、カセットデッキまたはMDレコーダーをセッティングします。
 - 3 本機の入力切り替えボタンを押して録音したい機器が接続されている端子を選びます。

(本機)
 - 4 本機のディスクホルダーに、録音するCD-R/RWディスクを装着します。

(本機)
 - 5 本機の録音ボタンを押して、録音一時停止状態にします。

(本機)
 - 6 CDプレーヤー、MDレコーダーのプレイ/ポーズボタンまたはカセットデッキのプレイボタンを押します。
・自動的に録音をはじめます。
CDプレーヤー、MDレコーダーまたはカセットデッキの再生が終わると、本機は自動的に録音一時停止状態になります。

(DCD-201SA)
(DMD-201SA)
(DRR-201SA)
- 途中で録音を止めるときは、CDプレーヤー、MDレコーダーまたはカセットデッキのストップボタンを押して、CD、MDまたはカセットテープの再生を停止させてください。
本機は、録音一時停止状態になります。
録音を止めるときは、本機のストップボタンを押してください。

(本機)

システム機能について(つづき)

(6) タイマー再生機能 (PMA-201SA, TU-201SA, 本機接続時)

チューナー (TU-201SA) のタイマー機能を使用して、設定された時間に再生することができます。
タイマー再生機能の設定のしかたは、TU-201SAの取扱説明書をご覧ください。

(7) システム接続をしないで使用する場合

システム機能について

オートファンクション機能、CDシンクロ録音機能、同期録音機能、タイマー再生機能などのシステム機能を使用することはできません。

リモコンについて

PMA-201SAに付属のリモコン (RC-906) では動作しません。

システム接続をしないで本機をリモコン操作する場合は、本機に付属のリモコン (RC-279) をご使用ください。

19 メッセージについて

本機をお使いになられているときの使用状況によりメッセージが表示されます。

メッセージ表示	メッセージの内容
All Skip Tr	• すべての曲がスキップ設定曲です。
Blank Disc	• 何も録音されていないディスクが入っています。
Can't Rec	• 録音中にエラーが発生しました。
Close	• ディスクホルダーが閉まります。
Complete	• モードの受け付けを完了しました。
Copy Prohibit	• 接続されているソースのデジタル録音できません。 (19ページの『デジタルコピーについて』を参照)
Dig.Unlock	• デジタル入力録音時にデジタル入力端子の接続が不完全なため、または他の障害により入力信号が正常に入力されていません。
Disc Error	• ディスクの不具合により、録音やファイナライズができません。
Disc Full	• ディスクが一杯になりました。これ以上録音できません。
Mecha Error	• CDRメカが正しく動いていません。
Name Full	• ディスク名/曲名が23文字を超えています。または曲名として入力した文字の合計が900文字を超えています。
No Disc	• ディスクが装着されていません。または、ディスクを正しく読み取れません。
No Name	• ディスクにテキストが記録されていません。
Not AudioDisc	• 挿入されたディスクは、オーディオ用ではありません。
Now OPC	• 自動最適書き込みレーザーパワーテストをおこなっています。
Now PMA Rec	• 録音したディスクの情報を更新しています。
OPC Error	• 自動最適書き込みレーザーパワーテストに失敗しました。
Open	• ディスクホルダーが開きます。
PMA Full	• ディスクの情報を更新するエリアが一杯になりました。これ以上録音や編集はできません。
TOC Reading	• ディスク情報を読み込んでいます。

故障？ と思っても、もう一度確かめてみましょう

- 各接続は正しいですか
- 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現 象	原 因	処 置	関連 ページ
電源が入らない。	・電源コードがPRESTA-201SAシリーズのACアウトレットまたはコンセントに差し込まれていますか。	・接続を確認してください。	8
	・システム接続されたPMA-201SAの電源が入っていますか。	・PMA-201SAの電源を入れてください。	8
操作できない。	・ディスクが入っていますか。 ("No Disc"が表示されます。)	・ディスクを入れてください。	27
	・ディスクが損傷または汚れていませんか。 ("No Disc"が表示されます。)	・他のディスクと取り替えてください。	20
再生できない。	・接続が間違っていないですか。	・接続を確認してください。	8
	・ディスクに録音されていますか。 ("Blank Disc"が表示されます。)	・録音されているディスクと取り替えてください。	—
録音できない。	・オーディオ用のディスクですか。 (オーディオ用以外のディスクでは "NotAudioDisc"が表示されます。)	・オーディオ用ディスクを入れてください。	21
	・ディスクがファイナライズされていませんか。	・ディスクを入れ替えてください。CD-RW ディスクの場合には、アンファイナライズ してください。	40
	・ディスクに残り時間がありますか。 ("Disc Full"が表示されます。)	・ディスクを入れ替えてください。	21
	・99曲収録されたディスクに録音しよう としていませんか。 ("Disc Full"が表示されます。)	・ディスクを入れ替えてください。	21
	・デジタル録音したソースをデジタル録音 しようとしていませんか。 ("CopyProhibit"が表示されます。)	・アナログ録音をしてください。	21
	・入力切り替えボタン (INPUT) の設定が違 っていませんか。 ("Dig.Unlock"が表示されます。)	・入力を確認してください。	34
	・録音レベル調整が絞られていませんか。	・録音レベルを正しく調整してください。	35
録音すると、音が歪む。	・録音レベルが大きすぎませんか。	・録音レベルを正しく調整してください。	35
	・接続が間違っていないですか。(出力を PMA-201SAのPHONO端子に入れると歪 みます。)	・接続を確認してください。	9
オートトラックマーキ ング機能が働かない。	・オートトラックマーキング機能の設定をし ましたか。	・オートトラックマーキング機能を設定して ください。	25
	・アナログ録音時にソース側の曲間に約3秒 以上の無音部分がありますか。	・録音中、曲番を区切るところで録音ボタ ン (● REC) を押してください。	38
	・DVDのソースを入力していませんか。 (DVDには、トラック切り替え信号が出な いものがあります。)	・アナログ録音をしてください。	21
録音したCD-Rディスク を他のプレーヤーで再 生できない。	・ファイナライズをしましたか。 ・他のプレーヤーのピックアップレンズが汚 れていませんか。	・ファイナライズをしてください。 ・別のCDプレーヤーで再生できますか。 できる場合は、再生できないプレーヤーの ピックアップのお手入れをしてください。 ・一部のCDプレーヤーやDVDプレーヤーに は、CD-Rが再生できないものがあります。	39 —

21 主な仕様

■ ワウ・フラッター 使用ディスク	測定限界 (±0.001% W. peak) 以下 コンパクトディスク (12cm/8cm) 民生用音楽録音用CD-Rディスク、 民生用音楽録音用CD-RWディスク
標 本 化 周 波 数	44.1kHz
電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	13W (電気用品安全法による) (スタンバイ時 : 1W以下)
外 形 寸 法	250 (幅) × 90 (高さ) × 356 (奥行き) mm (フット、つまみ、端子を含む)
質 量	3.8kg
■ リモコンユニット	RC-279
リモコン方式	赤外線パルス方式
電 源	DC3V 単3形乾電池2本使用
最 大 外 形 寸 法	54.5 (幅) × 29 (高さ) × 173 (奥行き) mm
質 量	105g (乾電池を含む)

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

本機は国内仕様です。

必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。

AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの場合は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

【お問い合わせ先】
(社) 私的録音補償金管理協会
TEL. 03 (5353) 0336

株式会社 **デノン** コンシューマー マーケティング

本 社 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター TEL : 03 - 6731 - 5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間 9 : 30 ~ 12 : 00、12 : 45 ~ 17 : 30

(弊社休日および祝日を除く、月 ~ 金曜日)

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先 (サービスセンター) については、
次の URL でもご確認できます。

<http://denon.jp/info/info02.html>

後日のために記入しておいてください。

購 入 店 名 : 電 話 (- -)

ご購入年月日 : 年 月 日